

市立岸和田市民病院改革プラン等評価報告書

平成24年11月

岸和田市

市立岸和田市民病院改革プラン等評価に係る視点

◎岸和田市と市民病院のあり方

首長と院長の透明度の高い日頃のコミュニケーションから構築される「相互理解」と「相互信頼」がもっとも大切である。

「公共性の確保」と「経済性の発揮」という両立しがたい命題を解決する「カギ」は、行政と病院あるいは首長と院長が自ら果たすべき役割と責任をしっかりと認識し、お互いに、基本的な部分において一致しておくことである。

◎当院の役割発揮のあり方4本柱

1. がん医療に対して
地域がん診療拠点病院として、がん医療に対するソフトおよびハード両面での体制の充実を目指す。

婦人科がん診療再開、地域の医療機関と連携した緩和ケアの実施など総合的ながん診療の提供ができるよう努力する。

◎病院運営のあり方

「何を直し、何を守り、何を捨てるか」など、経営のあり方を根本から見つめ直し・やり直すとともに、すべての職員がベクトルをあわせ行動することを当たり前と思う「組織風土」を醸成し、全員参加型の病院運営の確立に努力する。

まず、「市民病院は、今どこにいて、これからどこへ行こうとしているのか。市民病院では、今、何がおこなわれ、何が良くて、何が問題なのか」など、病院運営の実態を住民等に理解してもらうために努力する。

あり方検討委員会提言要旨

市立岸和田市民病院には、市民の暮らしと命を守り安心をもたらすための礎として、市域の中心となり、地域医療の維持・発展させる責任が課されている。地域医療のリーダー的目線を持ち、市及び泉州二次医療圏「全体の最適化」を目指す。

地域医療の「全体の最適化」を使命とする市民病院は、岸和田市にとってかつ市民にとって大切な「公共の財産」であることを強く認識しなければならない。特に、医療資源が枯渇しつつある現在、市民病院を守り、育てていくことは行政、医療関係者、住民の重要な責務であり、それらが一体となった活動が期待される。

2. 救急医療に対して
24時間365日の受け入れ体制を維持する。年間約2万人以上の救急診療の活動と、2.5次の救急を担ってきた実績を踏まえ、救急医療体制の強化と充実についてその責務を果たしてゆく。

また、一次、二次、三次救急に対する対応のあり方は、現状を踏まえつつ、広域的な視点を持ち病院間連携も考慮しながら体制の整備を検討し進める。

3. 急性期医療に対して
脳血管障害や、心筋梗塞などに代表される疾病の発生直後および急性増悪時における高度医療の提供体制を維持し充実させる。

急性期病院としての役割について、患者の方々、地域医療機関に明確に示すとともに、地域連携クリニック等積極的に活用しながら紹介・逆紹介を推進し、泉州二次医療圏での地域完結型医療の核となれるよう目指す。

なお、急性期医療の質的向上のために、早期に「一般病棟入院基本料7対1看護」施設基準の取得する。

4. 教育病院への取り組みに対して
地域医療水準向上と最適化への貢献について努力する。

(1) 臨床研修指定病院としての実績を活かし、臨床研修医への教育の充実を図る。

(2) 地元医療関係機関との連携により、市内医療従事者への教育・研修活動を積極的に展開する。

(3) 市民向け健康教育活動、また「かかりつけ医」の重要性や「コンビニ受診」の抑制への啓発活動を実施してゆく。

☆病院評価のあり方

本来の目的である「公共性の確保」と切り離した形で、制約条件に過ぎない「経済性の発揮」のみを議論の軸に置くことは行政の一貫として存在する自治体病院になじまない。

投下資本が、目的として掲げられた医療政策の実現に寄与したのかを評価することに重きをおくべき。

平成22・23年度 市立岸和田市民病院改革プラン等に関する 評価方法と基準

評価方法

プランで設定した経営改善努力の評価とともに、当あり方委員会の勧告にある、市立岸和田市民病院としての目指すべき医療のあり方の実現に向けた取り組みに関しても議論の対象に加え、総合的に評価するものとします。

評価の方法と基準

評価の方法としては、下記の評価基準に基づき、改革プランにて目標とした経営改善計画の達成状況を含めた、当院の果たすべき役割についての達成度合いの判定についてランク付けするものであります。

なお、本改革プラン活動実績の評価において総合評価「D」ランクとなった場合は、再度改革プランを策定するものとします。

総合評価	評価項目合計点数	活動評価項目6件 経営改善評価項目6件
A 優良	31～36	活動評価最高点18点 経営改善最高点18点 合計36点が最高得点
B 良好	24～30	
C 努力	13～23	
D 計画再考	0～12	

点数区分は、オール2点を基準にA・Bランク、C・Dランクに振り分ける。

基準

医療機能向上および経営改善評価

点数	区分	評価の考え方
3	目的どおり順調	委員会答申・改革プランでの目標設定に関して、具体的成果がある。
2	概ね順調	予定した目標・プランに取り組み、一定の成果と認められる。
1	やや停滞	目標・プランに対して、なお一層の努力を要する。
0	目的から遅れている	目標・プランに対して消極的である。

あり方提言書の目的に向けた医療機能向上 編

平成22年度、平成23年度 目的として掲げた役割の実現へ向けた活動にかかわる個別取り組み調査

役割	実施項目	取り組み内容	実績及びデータ	備考
<p>地域医療支援病院施設基準取得</p>	<p>○ 地域医療支援病院施設基準の取得 平成21年度末での紹介率、逆紹介率等が同施設基準に適合したことから、地域医療支援病院の知事承認を得る手続きを行い、平成22年11月19日に承認を得ました。</p>	<p>○ 紹介率 H22年度実績 42.8 % H23年度実績 44.8 %</p> <p>○ 逆紹介率 H22年度実績 66.9 % H23年度実績 72.7 %</p> <p>○ 共同診療棟開放病床稼働率 共同診療棟 H22年度実績 76.3 % 割合 H23年度実績 68.3 %</p> <p>開放病床稼働率 H22年度実績 16.0 % H23年度実績 2.0 %</p>	<p>「地域医療支援病院」とは平成9年第三次医療法改正で創設された制度であり、地域の「かかりつけ医」からの紹介患者に対する医療提供、「かかりつけ医」の医療機器、ベッド等の共同利用や研修等を通じて「かかりつけ医」を支援し、地域医療体制の中核を担う病院として、都道府県知事から承認された医療施設です。</p>	
<p>急性期医療の充実</p>	<p>○ 急性期病院としての機能の維持・向上に努めました。</p>	<p>○ 急性期に係る指標</p> <p>◇ 平均在院日数 H21年度実績 13.3 日 H22年度実績 13.1 日 H23年度実績 13.3 日</p> <p>◇ 集中治療室稼働状況 H21年度実績 71.3 % H22年度実績 67.3 % H23年度実績 70.8 %</p> <p>◇ 看護必要度 H22年度実績 16.1 % H23年度実績 16.3 %</p> <p>◇ 救急搬送件数 H21年度実績 4,858 件 うち即日入院分 1,151 件 H22年度実績 5,771 件 うち即日入院分 1,414 件 H23年度実績 5,583 件 うち即日入院分 1,394 件</p> <p>◇ 入院手術件数 H21年度実績 2,724 件 うち緊急分 276 件 H22年度実績 2,714 件 うち緊急分 308 件 H23年度実績 3,046 件 うち緊急分 297 件</p> <p>◇ 経皮的冠動脈形成術件数 H21年度実績 223 件 H22年度実績 229 件 H23年度実績 194 件</p> <p>◇ 脳血管内手術件数 H21年度実績 12 件 H22年度実績 4 件 H23年度実績 4 件</p> <p>◇ 脳動脈瘤頸部クリッピング件数 H21年度実績 14 件 H22年度実績 13 件 H23年度実績 13 件</p> <p>◇ 糖尿病合併症処置・光凝固術件数（眼科） H21年度実績 201 件 H22年度実績 169 件 H23年度実績 177 件</p>	<p>急性期病院は、一般的に急性疾患等の急性増悪などで緊急・手術・検査など高度で専門的な医療を提供する病院を指し、対職として慢性期病院があります。</p> <p>医療法においては、平成12年度の第4次法改正により療養病床と一般病床が区分され、平成18年度の第5次法改正では、さらに医療機能（急性期、回復期等）が、都道府県策定の医療計画上に明示され、その分が促進されています。</p> <p>さらに、平成23年7月1日に社会保険改革に関する集中検討会議による「社会保障・税一体改革案」が閣議報告され、それを踏まえて、平成24年度診療報酬改定がなされています。その中では、今後15年間の長期的視点に立ち、医療分野に関しては、急性期病院の機能強化と医療機能の整理、分化と連携強化が示されています。</p> <p>看護必要度は、看護必要度とは、患者それぞれの疾患・病態の違いに基づき看護サービス量を評価する指標を要し、看護サービスの提供時間の割合や程度によって表されるものです。</p> <p>平成24年度診療報酬改定では、一般病棟入院基本料7対1基準の算定要件として、平均在院日数18日以内、看護必要度基準1.5割以上という、より厳しい改定がなされました。</p>	

役割	実施項目	取り組み内容	実績及びデータ	備考
急性期医療の充実	<p>○ がん診療地域連携クリティカルパスについて</p> <p>泉州保健医療協議会の下部組織として、がん地域連携クリティカルパス小委員会が設置され、平成22年6月から正式に活動を開始、平成23年度11月で3回目の委員会を実施しました。大阪府内統一パスを現在10種類運用しております。</p> <p>クリティカルパスの運用には、地域開業医の先生方の連携協力が必要不可欠であり、化学療法などの管理面について幾分、地域医療機関での協力が課題がでています。</p> <p>また、連携のコーディネートに対するマンパワー不足問題や、再発がんの適用の難しさなど課題がでています。</p> <p>今後引き続き、同小委員会、大阪府がん地域連携バス促進会議の中で、検討改善を図り、適用拡大に向け努力します。</p> <p>○ 泉州圏域大腿骨頸部骨折地域連携クリティカルパスについて</p> <p>バス適用件数と適用率は実績データの通りです。</p> <p>今後引き続き、対象者数及び適用数増加に努めます。</p> <p>○ 泉州圏域脳卒中地域連携クリティカルパスについて</p> <p>バス適用件数と適用率は実績データの通りです。</p> <p>今後引き続き、対象者数及び適用数増加に努めます。</p>	<p>△ 大阪府内統一バスとして作成された連携バス一覧</p> <p>肺がん術後補助化学療法 肺がん術後経過観察 胃がん術後経過観察 胃がん術後補助化学療法(TS-1投与) 大腸がん術後経過観察 大腸がん術後補助化学療法(ゼロータ投与) 大腸がん術後補助化学療法(UFT/ロイコロリン投与) 乳がん術後経過観察 肝がん 前立腺がん検診</p> <p>△ 平成18年度よりバスを作成運用開始 (本院は、5病院の内数) 急性期5病院、連携病院8病院が参加 (本院は、5病院の内数) 地域連携バス会議年3回以上 バス運用報告及びバスの改定等を議論</p> <p>和泉・岸和田・泉佐野各市の回復期リハビリテーション病棟を有する病院による部会を軸とし、圏域活動がなされている。その中で「泉州地域リハ連絡会議」に急性期部門として参加、「泉州圏域脳卒中地域連携バス-泉州版-」が平成20年3月に完成し、5月から運用されている。</p>	<p>地域連携クリティカルパス</p> <p>急性期病院から回復期病院を経て早期に自宅に帰れるような診療計画を作成し、治療を受ける全ての医療機関で共有して用いているものです。</p> <p>クリティカルパスは、患者ケアのシステム化を行うことで、患者さんを中心に据え、医療従事者の専門分野の責任と役割を明確にし、ケアを計画的に行うことで、効率的な医療を目指すとともに、患者さんにとっては、無駄な診療に煩わされないよう標準的で根拠に基づいた医療が受けられるようにするための計画書です。</p> <p>大阪府がん診療地域連携バス説明資料</p> <p>がん医療において、医療機関の役割分担を進め、がん医療の質の保証と安全・安心の確保を図ることが以前にもまして重要となっています。</p> <p>このような中、標準化された診断診療体系に基づいて、疾患管理の全体像を可視化・構造化し、医療機能に応じた役割分担を明示するために欠かせないのが地域連携バスです。</p>	

役割	実施項目	取り組み内容	実績及びヒトータ	備考
緊急医療の安定的継続 緊急搬送受入継続	○ 救急の受け入れの継続 救急診療科を構築し、24時間365日体制を継続。 ◇ 当院の救急体制 (看護は3勤務帯全て) 医師当直 内科・外科・救急・ICU等 5名 医師当直 小児科(深夜・深夜) 2名(当番日のみ) 医師当直 耳鼻科1・眼科1 0名(当番日のみ) 医師当直 管理科・心臓科・消化器科 8名 看護師3勤務帯 救急ICU(当番2・当番3)2・3 15名 看護師宅直 救急放射線科1・ICU要2 3名 医療技術当直 検査・薬剤・放射線・ME 4名 当直・宅直計 37名	○ 泉州二次医療圏における救急搬送の状況 ただし、堺市高石消防による搬送件数を除き、忠岡町から柳町までの6市4町の件数 泉州二次医療圏救急搬送件数 単位:件 H21 37,541 H22 40,189 H23 40,873 泉州二次医療圏内の搬送のうち本院の推移 単位:件 H21 12,903 H22 14,506 H23 13,350 注 平成23年度 堺市高石組合による緊急搬送を除く、二次医療圏搬送件数:40,873件 二次救急搬送受入総件数:91,756件	実績及びヒトータ 平成23年度 二次救急搬送実績 (診療当日数夜間・休日 最小14日～最大437日) 単位:件 搬送のうち即日入院とそれ以外の推移 単位:件 H21 3,887 H22 4,357 H23 4,152 搬送のうち即日入院とそれ以外の推移 単位:件 H21 1,151 H22 1,414 H23 1,368	高石市の救急を除き、泉州二次医療圏内の搬送数は、約4万件となっており、当院では、そのうち13.5%程度の搬送を受け持っています。 当院に搬送された患者のうち、即日入院となるのは、約25%程度です。 搬送患者の受入件数では、徳洲会岸和田病院が多く、次いで当院と府中病院と云う状況です。 ただし、救急搬送の救急受入件数は、泉州二次医療圏以外の医療圏も含まれていることに注意

役割	実施項目	取り組み内容	実績及びデータ	備考																																																																																																																																		
<p>救急医療の定例的継続</p> <p>地域の要請に応じた救急の受入継続</p>	<p>○地域の要請に応じた救急の受入継続</p> <p>本来二次救急を受け持つことを主目的としています。地域及び、泉州二次医療圏の要請に応じて、初期救急においても実施しているところがあります。</p>	<p>教急搬送と自己来院 各年度比較</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>□教急搬送</td> <td>5,135</td> <td>4,591</td> <td>4,905</td> <td>5,818</td> <td>5,583</td> </tr> <tr> <td>□自己来院他</td> <td>15,043</td> <td>13,618</td> <td>14,244</td> <td>13,044</td> <td>12,425</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成23年度 地域別救急受入件数内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>岸和田市</td><td>11,538</td></tr> <tr><td>泉佐野市</td><td>688</td></tr> <tr><td>和泉市</td><td>1,288</td></tr> <tr><td>泉南市</td><td>1,505</td></tr> <tr><td>東大阪市</td><td>617</td></tr> <tr><td>豊田町</td><td>448</td></tr> <tr><td>熊取町</td><td>415</td></tr> <tr><td>泉南市</td><td>350</td></tr> <tr><td>地内系等</td><td>232</td></tr> <tr><td>堺市内</td><td>234</td></tr> <tr><td>阪南市</td><td>228</td></tr> <tr><td>高石市</td><td>137</td></tr> <tr><td>大区内</td><td>128</td></tr> <tr><td>田原町</td><td>40</td></tr> <tr><td>堺町</td><td>9</td></tr> </tbody> </table> <p>年齢区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢区分</th> <th>救急H21</th> <th>救急H22</th> <th>救急H23</th> <th>自己他H21</th> <th>自己他H22</th> <th>自己他H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0~9</td><td>~1,000</td><td>~1,000</td><td>~1,000</td><td>~1,000</td><td>~1,000</td><td>~1,000</td></tr> <tr><td>10~19</td><td>~1,500</td><td>~1,500</td><td>~1,500</td><td>~1,500</td><td>~1,500</td><td>~1,500</td></tr> <tr><td>20~29</td><td>~1,000</td><td>~1,000</td><td>~1,000</td><td>~1,000</td><td>~1,000</td><td>~1,000</td></tr> <tr><td>30~39</td><td>~1,000</td><td>~1,000</td><td>~1,000</td><td>~1,000</td><td>~1,000</td><td>~1,000</td></tr> <tr><td>40~49</td><td>~1,000</td><td>~1,000</td><td>~1,000</td><td>~1,000</td><td>~1,000</td><td>~1,000</td></tr> <tr><td>50~59</td><td>~1,000</td><td>~1,000</td><td>~1,000</td><td>~1,000</td><td>~1,000</td><td>~1,000</td></tr> <tr><td>60~69</td><td>~1,000</td><td>~1,000</td><td>~1,000</td><td>~1,000</td><td>~1,000</td><td>~1,000</td></tr> <tr><td>70~</td><td>~1,000</td><td>~1,000</td><td>~1,000</td><td>~1,000</td><td>~1,000</td><td>~1,000</td></tr> </tbody> </table> <p>教急受入れのうち即日入院の割合 各年度比較</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>□即日入院</td> <td>2,024</td> <td>1,786</td> <td>2,079</td> <td>2,116</td> <td>2,036</td> </tr> <tr> <td>□帰宅他</td> <td>18,154</td> <td>16,423</td> <td>17,070</td> <td>16,746</td> <td>15,972</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H19	H20	H21	H22	H23	□教急搬送	5,135	4,591	4,905	5,818	5,583	□自己来院他	15,043	13,618	14,244	13,044	12,425	地域	件数	岸和田市	11,538	泉佐野市	688	和泉市	1,288	泉南市	1,505	東大阪市	617	豊田町	448	熊取町	415	泉南市	350	地内系等	232	堺市内	234	阪南市	228	高石市	137	大区内	128	田原町	40	堺町	9	年齢区分	救急H21	救急H22	救急H23	自己他H21	自己他H22	自己他H23	0~9	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000	10~19	~1,500	~1,500	~1,500	~1,500	~1,500	~1,500	20~29	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000	30~39	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000	40~49	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000	50~59	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000	60~69	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000	70~	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000	年度	H19	H20	H21	H22	H23	□即日入院	2,024	1,786	2,079	2,116	2,036	□帰宅他	18,154	16,423	17,070	16,746	15,972	<p>当院の救急受入については、自己来院のウエイトが高い状態です。</p> <p>年齢構成別では、乳幼児が高く次いで、高齢者が多い状況です。高齢者については、教急搬送も、自己来院も共に高い状況です。また、教急搬送と自己来院での受け入れに對して、約11%程度が即日入院となっています。</p> <p>救急搬送における即日入院者の年齢では、70歳以上高齢者が非常に高くなっています。(前頁・救急搬送のうち即日入院年齢構成別推移)参照</p> <p>利用状況としては、岸和田市民の利用がやはり高く、次いで、貝塚市、和泉市、泉佐野市などからの受け入れもある程度まとまった件数となっています。</p>
年度	H19	H20	H21	H22	H23																																																																																																																																	
□教急搬送	5,135	4,591	4,905	5,818	5,583																																																																																																																																	
□自己来院他	15,043	13,618	14,244	13,044	12,425																																																																																																																																	
地域	件数																																																																																																																																					
岸和田市	11,538																																																																																																																																					
泉佐野市	688																																																																																																																																					
和泉市	1,288																																																																																																																																					
泉南市	1,505																																																																																																																																					
東大阪市	617																																																																																																																																					
豊田町	448																																																																																																																																					
熊取町	415																																																																																																																																					
泉南市	350																																																																																																																																					
地内系等	232																																																																																																																																					
堺市内	234																																																																																																																																					
阪南市	228																																																																																																																																					
高石市	137																																																																																																																																					
大区内	128																																																																																																																																					
田原町	40																																																																																																																																					
堺町	9																																																																																																																																					
年齢区分	救急H21	救急H22	救急H23	自己他H21	自己他H22	自己他H23																																																																																																																																
0~9	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000																																																																																																																																
10~19	~1,500	~1,500	~1,500	~1,500	~1,500	~1,500																																																																																																																																
20~29	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000																																																																																																																																
30~39	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000																																																																																																																																
40~49	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000																																																																																																																																
50~59	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000																																																																																																																																
60~69	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000																																																																																																																																
70~	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000	~1,000																																																																																																																																
年度	H19	H20	H21	H22	H23																																																																																																																																	
□即日入院	2,024	1,786	2,079	2,116	2,036																																																																																																																																	
□帰宅他	18,154	16,423	17,070	16,746	15,972																																																																																																																																	

役割	実施項目	取り組み内容	実績及びびデータ	備考
	<p>○がん診療連携拠点病院としての活動</p> <p>がん診療連携拠点病院としての役割発揮について各種の事業を展開しました。</p> <p>◎ がん医療充実に対する投資</p> <p>平成22年度、平成23年度総経費を組み、放射線治療装置の更新、放射線治療棟及び緩和ケア病棟の増設工事を実施しました。</p> <p>ハード面の充実</p>	<p>平成22年度、平成23年度継続経費概要</p> <p>○ 整備趣旨</p> <p>がんに対する手術療法、化学療法、放射線療法各療法の充実強化に向けて更新期にある(平成8年度導入)放射線治療装置の更新を行うとともに、腫瘍内科、緩和ケア外来等の診療機能と、緩和ケア病棟の閉鎖にあわせ、医師等の執務室を拡張し、放射線棟を建設しました。</p> <p>また、終末期を迎え、亡くなるがん患者が年間約200名となる当院において、終末期のがん医療の充実を図り、もってがん患者のQOLの向上を図るため、現存の6階裏側の医師執務室となっていた部分を、緩和ケア病棟として改修いたしました。</p> <p>○ 増築延面積 1,139.20㎡ (RC3階建)</p> <p>1階部分 リニアック治療室 総事業費 10億6千9百47万円</p> <p>2階部分 腫瘍内科、緩和ケア外来、乳腺科、中央点滴室 企業債 10億4千2百10万円</p> <p>3階部分 診療科部長室 病院資金 2千7百37万円</p> <p>○ 6階裏側改修工事面積 976㎡</p> <p>病床数 20床 家族面談室、食堂等</p> <p>うち放射線棟工事 4億4千9百77万円</p> <p>うち緩和ケア病棟工事 1億 8百32万円</p>	<p>実績及びびデータ</p>	
がん医療の充実	<p>◎ 腫瘍内科の新設</p> <p>平成23年度に1名腫瘍内科常勤医師を確保、平成24年度からは、2名体制となっています。</p> <p>常勤医師確保により、化学療法センターが一層整備され化学療法レジメンの登録制が強化されています。</p> <p>また、キャンサーボードの主要メンバーとしても、その役割発揮が期待されています。</p> <p>今後は、がん薬物療法に関連した多施設共同研究に参加し、全国に向けがん治療に関する新たな情報を発信できるよう取り組み予定です。</p> <p>◎ 緩和ケア外来の設置</p> <p>緩和ケア外来は、平成19年度より非常勤医師で運営しておりましたが、増築を契機に常勤医師を配置し、運営強化を図っていきます。</p> <p>◎ キャンサーボードの強化</p> <p>診療科をまたぎ、各分野の専門知識を結集させて一つの症例に対する治療法を包括的に議論し、もって信頼性のある集学的治療法を決定し、患者さんの意思決定を尊重した包括的治療方針の提示・実践を実施するため、院内にキャンサーボードを設置しております。</p>	<p>外來化学療法件数の推移</p> <p>○ 院内 キャンサーボードの設置</p> <p>※ポード参加医療従事者</p> <p>腫瘍内科医、内科医、外科医、放射線治療医 5回</p> <p>研修医、がん専門看護師、化学療法認定看護師 9回</p> <p>平成21年度8月第1回開催 (年度開催回数)</p> <p>平成22年度 (年度開催回数)</p> <p>平成23年度 (年度開催回数)</p>	<p>レジメンとは、がん治療で、投与薬剤の種類、量、期間手順などを時系列で示した計画書</p>	

役割	実施項目	取り組み内容	実績及びデータ	備考
	<p>◎ がん医療充実に向けた医療従事者の体制整備</p>	<p>◎ がん医療関連資格取得状況(平成23年9月1日時点状況)</p> <p>◇ 医師関係</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本緩和医療学会 暫定指導医 1 名 がん治療認定医機構 がん治療認定医 6 名 がん治療認定医機構 暫定教育医 4 名 有限責任中間法人 日本核医学 PET核医学認定医 1 名 NPO法人マモグラフィ検診精度管理中央委員会 検診マモグラフィ読影認定医師A評価 1 名 日本消化器外科学会 消化器がん外科認定医 2 名 NPO法人日本乳腺甲状腺超音波診断会 乳房超音波読影力評価試験A評価 1 名 <p>◇ 看護師関係</p> <ul style="list-style-type: none"> (社)日本看護協会 がん看護専門看護師 1 名 (社)日本看護協会 がん化学療法看護認定看護師 1 名 (社)日本看護協会 がん性疼痛看護認定看護師 1 名 (社)日本看護協会 緩和ケア認定看護師 1 名 (社)日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師 2 名 (社)日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師 1 名 <p>◇ 医療技術関係</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本臨床細胞学会 細胞検査士 2 名 NPO法人マモグラフィ検診精度管理中央委員会 検診マモグラフィ読影診療放射線技師 5 名 日本医学放射線学会 医学物理士 1 名 放射線治療品質管理機構 放射線治療品質管理士 1 名 日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師 1 名 肺がんCT検診認定技師 4 名 		
	ソフト面の充実			

役割	実施項目	実績及びデータ	備考																																																																														
<p>がん医 療の充 実 ソフト面 の充 実</p>	<p>4. 院内がん登録と管理 院内がん登録件数の推移(大塚府地域がん登録件数と同数) 平成20年度 1,127 件 平成21年度 1,121 件 平成22年度 1,267 件</p>	<p>登録部位別ステージ別推移 (本院の登録上位件数類 グラフ左から上位件数が10件未満の部位を集約しています。)</p> <p>部位別がん登録数推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>胃</th> <th>大腸</th> <th>肺</th> <th>肝・胆膵</th> <th>乳癌</th> <th>子宮・卵巣</th> <th>皮膚</th> <th>泌尿器</th> <th>食道</th> <th>膵臓</th> <th>甲状腺</th> <th>リンパ節</th> <th>頭頸部</th> <th>骨</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>■H20</td> <td>193</td> <td>154</td> <td>146</td> <td>119</td> <td>74</td> <td>45</td> <td>38</td> <td>40</td> <td>44</td> <td>31</td> <td>32</td> <td>16</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>16</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>■H21</td> <td>212</td> <td>134</td> <td>126</td> <td>93</td> <td>64</td> <td>53</td> <td>54</td> <td>43</td> <td>37</td> <td>35</td> <td>25</td> <td>35</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>13</td> <td>172</td> </tr> <tr> <td>■H22</td> <td>256</td> <td>166</td> <td>129</td> <td>139</td> <td>61</td> <td>71</td> <td>56</td> <td>42</td> <td>39</td> <td>34</td> <td>41</td> <td>27</td> <td>21</td> <td>16</td> <td>12</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>140</td> </tr> </tbody> </table> <p>単位: 件</p>	部位	胃	大腸	肺	肝・胆膵	乳癌	子宮・卵巣	皮膚	泌尿器	食道	膵臓	甲状腺	リンパ節	頭頸部	骨	その他	■H20	193	154	146	119	74	45	38	40	44	31	32	16	15	10	16	99	■H21	212	134	126	93	64	53	54	43	37	35	25	35	17	17	13	172	■H22	256	166	129	139	61	71	56	42	39	34	41	27	21	16	12	8	9	140	<p>○院内がん登録事業とは がん対策推進基本計画が目指す、全体目標に沿ってがんの早期発見、がんの予防を推進するため、当院で診断・治療をおこなった全てのがん患者についてその診断から治療、および予後に関する情報を登録し、登録資料のうち、大塚府悪性新生物患者登録事業において要請される情報のみを抽出・編集・届出を行っています。</p> <p>なお、登録においては、診療録管理士資格保持者が行うものとしています。また、運用については、要項のほか、院内がん診療推進委員会において管理し、行っています。</p> <p>治療前ステージの態様</p> <p>がんの進行度におけるTNM分類 T 原発腫瘍 T0 腫瘍なし T1~T4 大きさ、浸潤の程度 N リンパ節転移 N0 リンパ節転移なし M 遠隔転移 M0 遠隔転移なし M1 遠隔転移あり</p> <p>※ 腫瘍の大きさ、浸潤の程度は、各臓器ごとに分類されます。</p> <p>〇期 Tis(上皮内がん)~T1, N0, M0 I期 T1~T2, N0~N1, M0 II期 T1~T3, N0~N2, M0 III期 T2~T4, N0~N2, M0 IV期 T4, N2, M0~M1</p> <p>ステージの期別の数値が大きいほど症状が重いこととなります。</p>									
部位	胃	大腸	肺	肝・胆膵	乳癌	子宮・卵巣	皮膚	泌尿器	食道	膵臓	甲状腺	リンパ節	頭頸部	骨	その他																																																																		
■H20	193	154	146	119	74	45	38	40	44	31	32	16	15	10	16	99																																																																	
■H21	212	134	126	93	64	53	54	43	37	35	25	35	17	17	13	172																																																																	
■H22	256	166	129	139	61	71	56	42	39	34	41	27	21	16	12	8	9	140																																																															
<p>2000年~2004年の部位別臨床進行度</p>		<p>全部位治療前ステージ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>不明</th> <th>IV期</th> <th>III期</th> <th>II期</th> <th>I期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胃</td> <td>144</td> <td>268</td> <td>189</td> <td>205</td> <td>280</td> </tr> <tr> <td>大腸</td> <td>114</td> <td>225</td> <td>196</td> <td>218</td> <td>306</td> </tr> <tr> <td>肺</td> <td>185</td> <td>266</td> <td>187</td> <td>225</td> <td>340</td> </tr> </tbody> </table> <p>単位: 件</p>	部位	不明	IV期	III期	II期	I期	胃	144	268	189	205	280	大腸	114	225	196	218	306	肺	185	266	187	225	340	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">部位</th> <th colspan="2">限局</th> <th colspan="2">領域</th> <th colspan="2">遠隔</th> <th rowspan="2">病期別登録 5年生存率</th> </tr> <tr> <th>患者数</th> <th>5年生存率%</th> <th>患者数</th> <th>5年生存率%</th> <th>患者数</th> <th>5年生存率%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胃</td> <td>134</td> <td>84.8</td> <td>111</td> <td>54.5</td> <td>68</td> <td>3.3</td> <td>60.2</td> </tr> <tr> <td>大腸</td> <td>161</td> <td>89.0</td> <td>71</td> <td>69.5</td> <td>38</td> <td>24.9</td> <td>67.5</td> </tr> <tr> <td>肝臓</td> <td>60</td> <td>29.8</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>25.8</td> </tr> <tr> <td>肺</td> <td>62</td> <td>61.5</td> <td>59</td> <td>16.8</td> <td>60</td> <td>-</td> <td>20.1</td> </tr> <tr> <td>乳癌</td> <td>67</td> <td>92.8</td> <td>53</td> <td>66.2</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>77.3</td> </tr> </tbody> </table>	部位	限局		領域		遠隔		病期別登録 5年生存率	患者数	5年生存率%	患者数	5年生存率%	患者数	5年生存率%	胃	134	84.8	111	54.5	68	3.3	60.2	大腸	161	89.0	71	69.5	38	24.9	67.5	肝臓	60	29.8	-	-	-	-	25.8	肺	62	61.5	59	16.8	60	-	20.1	乳癌	67	92.8	53	66.2	-	-	77.3
部位	不明	IV期	III期	II期	I期																																																																												
胃	144	268	189	205	280																																																																												
大腸	114	225	196	218	306																																																																												
肺	185	266	187	225	340																																																																												
部位	限局		領域		遠隔		病期別登録 5年生存率																																																																										
	患者数	5年生存率%	患者数	5年生存率%	患者数	5年生存率%																																																																											
胃	134	84.8	111	54.5	68	3.3	60.2																																																																										
大腸	161	89.0	71	69.5	38	24.9	67.5																																																																										
肝臓	60	29.8	-	-	-	-	25.8																																																																										
肺	62	61.5	59	16.8	60	-	20.1																																																																										
乳癌	67	92.8	53	66.2	-	-	77.3																																																																										

役割	実施項目	取り組み内容	実績及びデータ	備考																																																																																			
がん医療の充実	<p>◎ がん相談事業</p> <p>がん相談室についての体制は以下のとおり</p> <table border="1" data-bbox="200 1572 323 1878"> <tr><td>医師</td><td>1名</td></tr> <tr><td>相談員</td><td>5名</td></tr> <tr><td>看護師</td><td>5名</td></tr> <tr><td>事務員</td><td>1名</td></tr> </table> <p>(業務)</p> <ul style="list-style-type: none"> がん看護・総合相談 お薬相談 栄養相談 検査相談 <p>(受付/管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> セカンドオピニオン <p>(協働/連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> 緩和ケア外来 化学療法センター 放射線治療 <p>◎ 医療従事者研修</p>	医師	1名	相談員	5名	看護師	5名	事務員	1名	<p>○がん相談室の相談件数</p> <p>がん相談件数</p> <table border="1" data-bbox="200 786 292 1048"> <tr><td>平成21年度</td><td>3,146件</td></tr> <tr><td>平成22年度</td><td>2,315件</td></tr> <tr><td>平成23年度</td><td>2,846件</td></tr> </table> <p>セカンドオピニオン件数</p> <table border="1" data-bbox="200 786 292 1048"> <tr><td>平成21年度</td><td>21件</td></tr> <tr><td>平成22年度</td><td>19件</td></tr> <tr><td>平成23年度</td><td>8件</td></tr> </table> <p>がん相談 平成23年度状況</p> <p>相談形式 …… 面談形式が52%、電話形式が48%で大半を占めている。</p> <p>利用回数 …… 初めての相談は29%、2回目以上の相談が68%</p> <p>相談者 …… 医療従事者、患者の家族、患者本人の順番での順番となっている。</p> <p>年齢 …… 61～70歳が最も多く、次に51～60歳であり、第三順位は71～80歳、第四順位41～50歳となっています。</p> <p>部位種類 …… 肺が最も多く、大腸・小腸、肝臓・胆のう、胃、眼・脳・神経の順となっている。</p> <p>相談内容 …… 医療機関の紹介、介護・看護・薬育などの相談、症状、薬剤副作用などの相談、不安や精神苦痛に関する相談など</p> <p>○ 泉州緩和ケア研修会の開催</p> <table border="1" data-bbox="770 458 970 1397"> <tr><th colspan="2">平成21年7月11日(土)～12日(日)開催</th><th colspan="2">研修会修了者人数</th></tr> <tr><td>本院</td><td>28名</td><td>本院</td><td>7名</td></tr> <tr><td>他公立病院</td><td>3名</td><td>民間病院等</td><td>18名</td></tr> <tr><th colspan="2">平成22年4月24日(土)～25日(日)開催</th><th colspan="2">本院</th></tr> <tr><td>本院</td><td>31名</td><td>本院</td><td>7名</td></tr> <tr><td>他公立病院</td><td>2名</td><td>民間病院等</td><td>22名</td></tr> <tr><th colspan="2">平成23年5月28日(土)～29日(日)開催</th><th colspan="2">本院</th></tr> <tr><td>本院</td><td>8名</td><td>内訳</td><td>0名</td></tr> <tr><td>他公立病院</td><td>2名</td><td>民間病院等</td><td>6名</td></tr> <tr><td colspan="4">(平成23年5月は看護師・薬剤師対象)</td></tr> <tr><th colspan="2">平成24年2月4日(土)～5日(日)開催</th><th colspan="2">本院</th></tr> <tr><td>本院</td><td>19名</td><td>他公立病院</td><td>1名</td></tr> <tr><td>他公立病院</td><td>8名</td><td>民間病院等</td><td>8名</td></tr> <tr><td>本院</td><td>86名</td><td>他公立病院</td><td>24名</td></tr> <tr><td>他公立病院</td><td>8名</td><td>民間病院等</td><td>54名</td></tr> <tr><td colspan="4">累積計</td></tr> </table> <p>○ 看護研修関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ がん看護研修 (基礎編2回、応用編2回、がん性疼痛基礎～ケア4回、化学療法4回) 月1回実施 12回 ◇ 腫瘍内科医によるランチョンセミナー 月1回実施 12回 ◇ がん看護事例検討会 年3回実施 ◇ 緩和ケア勉強会 年1回実施 <p>(緩和ケア研修会前準備)</p> <p>○ 読影関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 画像診断X線研究会 二次医療圏医療機関での症例検討、読影研修 月1回実施 12回 ◇ マンモグラフィ読影会 奇数月1回実施 6回 ◇ 岸和田市乳がん検診研究会 乳がん検診フィルム読影研修 年度1回実施 <p>○ 化学療法関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ がん化学療法研修 二次医療圏 医師、看護師 <p>○ その他地域連携分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 岸和田緩和ケアネットワーク研究会 勉強会年4回実施、講演会1回開催 	平成21年度	3,146件	平成22年度	2,315件	平成23年度	2,846件	平成21年度	21件	平成22年度	19件	平成23年度	8件	平成21年7月11日(土)～12日(日)開催		研修会修了者人数		本院	28名	本院	7名	他公立病院	3名	民間病院等	18名	平成22年4月24日(土)～25日(日)開催		本院		本院	31名	本院	7名	他公立病院	2名	民間病院等	22名	平成23年5月28日(土)～29日(日)開催		本院		本院	8名	内訳	0名	他公立病院	2名	民間病院等	6名	(平成23年5月は看護師・薬剤師対象)				平成24年2月4日(土)～5日(日)開催		本院		本院	19名	他公立病院	1名	他公立病院	8名	民間病院等	8名	本院	86名	他公立病院	24名	他公立病院	8名	民間病院等	54名	累積計				<p>平成18年7月10日から当該地域連携室内に設置され、がんに関する、病質、治療、薬剤、検査、介護、検診についての疑問・悩みについての相談業務をおこなっています。</p> <p>なお、診療内容に関するセカンドオピニオンの取次ぎも行っています。</p> <p>受付時間 10:00～15:00(土日祝除く)</p> <p>方法(来院・電話・e-mail・その他)</p>
医師	1名																																																																																						
相談員	5名																																																																																						
看護師	5名																																																																																						
事務員	1名																																																																																						
平成21年度	3,146件																																																																																						
平成22年度	2,315件																																																																																						
平成23年度	2,846件																																																																																						
平成21年度	21件																																																																																						
平成22年度	19件																																																																																						
平成23年度	8件																																																																																						
平成21年7月11日(土)～12日(日)開催		研修会修了者人数																																																																																					
本院	28名	本院	7名																																																																																				
他公立病院	3名	民間病院等	18名																																																																																				
平成22年4月24日(土)～25日(日)開催		本院																																																																																					
本院	31名	本院	7名																																																																																				
他公立病院	2名	民間病院等	22名																																																																																				
平成23年5月28日(土)～29日(日)開催		本院																																																																																					
本院	8名	内訳	0名																																																																																				
他公立病院	2名	民間病院等	6名																																																																																				
(平成23年5月は看護師・薬剤師対象)																																																																																							
平成24年2月4日(土)～5日(日)開催		本院																																																																																					
本院	19名	他公立病院	1名																																																																																				
他公立病院	8名	民間病院等	8名																																																																																				
本院	86名	他公立病院	24名																																																																																				
他公立病院	8名	民間病院等	54名																																																																																				
累積計																																																																																							

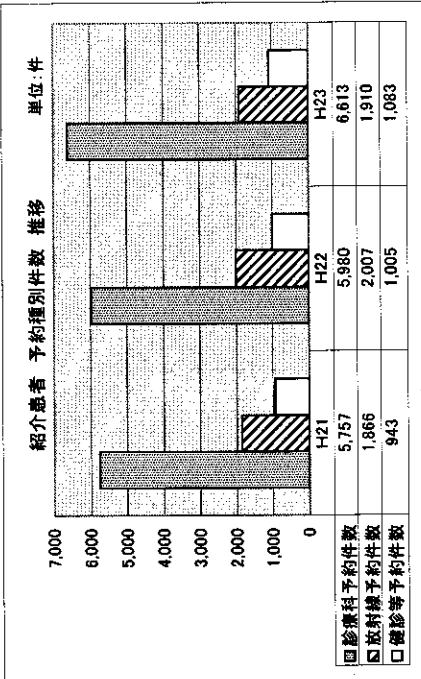
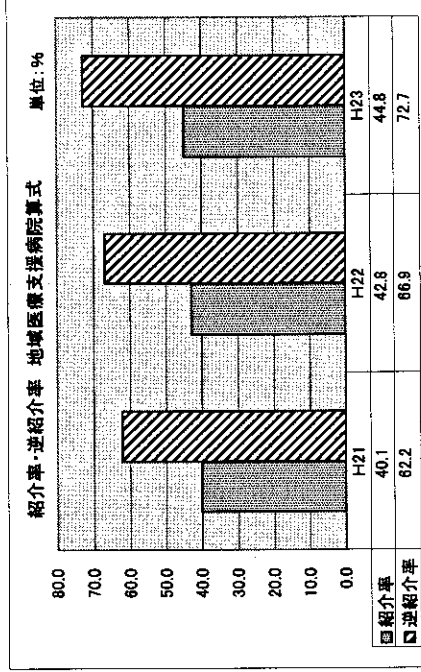
役割

実施項目

取り組み内容

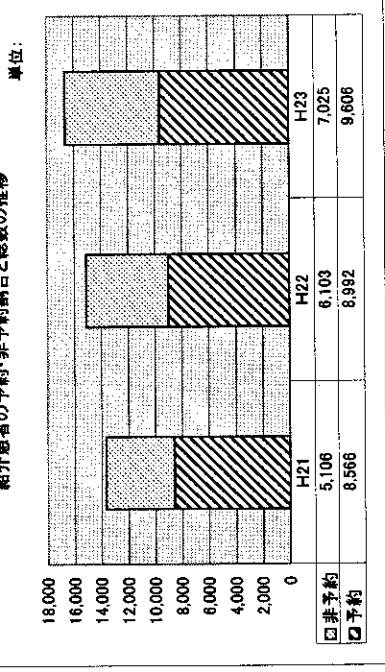
○地域連携室の利用の向上
平成22年11月に地域医療支援病棟の府承認をいただき、その役割発揮に努めました。
しかしながら、課題として、紹介率の伸び悩みを懸念しているところがあります。
今後は、この分野について、地域医療支援委員会を通じ、地域の開業医等の関係各位との意見交換をしながら、かつ自院においても、紹介状況の調査、分析を進め、比率拡大につなげるよう取り組んでいきます。

○地域連携の状況について



地域連携室の利用状況

紹介患者の予約・非予約割合と総数の推移



全体の最適化に向けての取り組み

○口腔管理に関する地域連携の推進

平成23年8月から、岸和田市医師会と合同で口腔管理に関する地域連携システムを実施しました。

歯科連携の推進活動

○口腔管理地域連携システムの構築
平成23年8月から岸和田市歯科医師会と合同で、口腔管理の連携について検討を重ね、低侵襲のある治療、手術や疾患の影響により、人工呼吸器関連肺炎や誤嚥性肺炎のリスクのある患者に対し、肺炎の発生を最小限にすること、口腔内環境の悪化を防ぐことを目的とし、本院と岸和田市医師会(盈進会病棟を含む)が連携して行う口腔管理の実施に着手しました。
具体的には、本院で入院開始前に地域の歯科医院を紹介し、地域で口腔管理を行い必要に応じて退院後も同じ歯科医院で一貫した口腔管理を受けるシステムです。

同連携システムは、本院窓口を地域連携室が担当し、歯科医師会事務局との連絡、調整を通じて行っています。

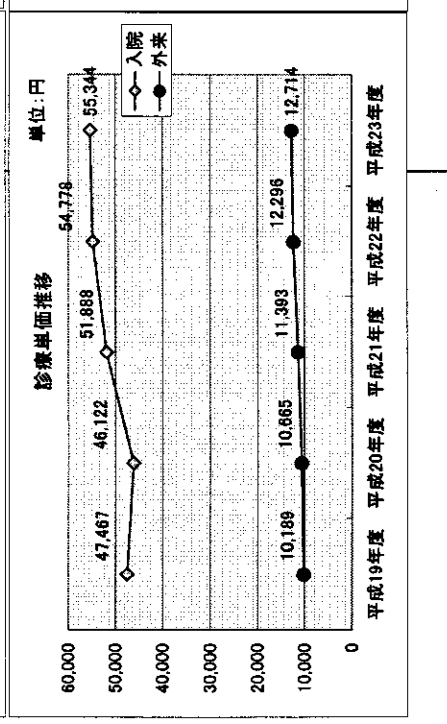
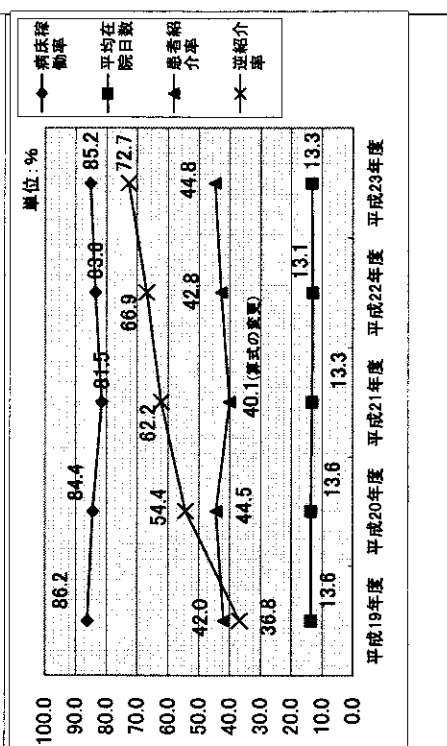
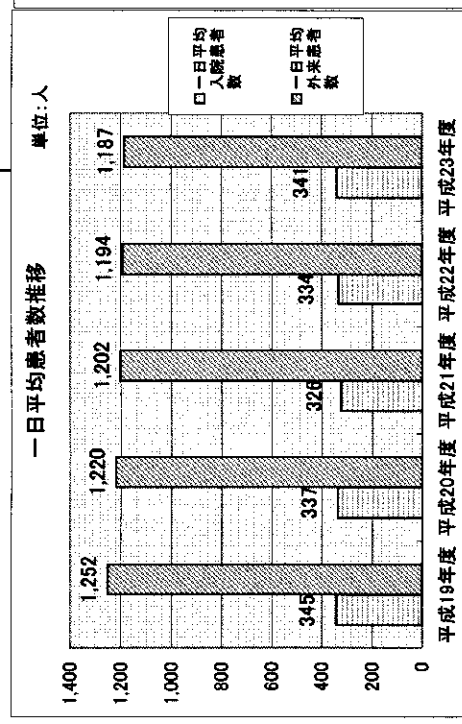
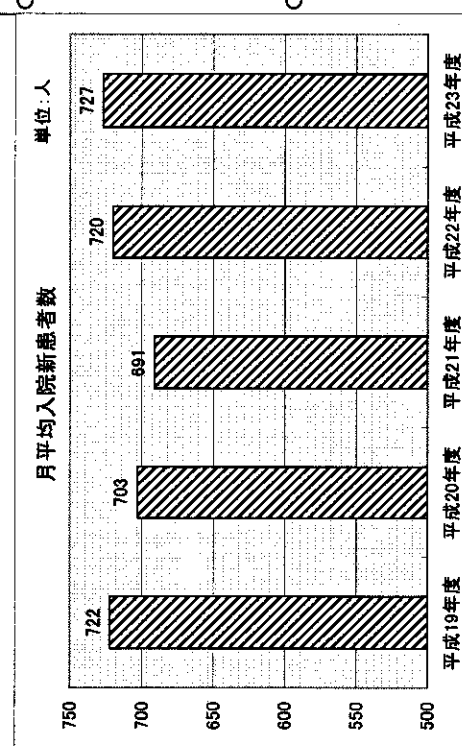
平成21年度目的として掲げた役割の実現へ向けた活動にかかわる個別取り組み調査

役割	実施項目	取り組み内容	実績及びびデータ
<p>疾病の 教育 院への 取組 取組 み</p>	<p>医療従事 者への教 育・研究 活動</p>	<p>○ 臨床研修の継続 ○ 看護師、医療従事者への講義 の継続 ○ 看護師のキャリア開発への取組を推進</p>	<p>○ 臨床研修制度の実施 基幹型臨床研修病院として研修を実施 指導医 64名 (H21年4月1日現在) 研修医 13名 (H21年4月1日現在) 指導医 51名 (H22年4月1日現在) 研修医 12名 (H22年4月1日現在) 指導医 57名 (H23年4月1日現在) 研修医 13名 (H23年4月1日現在) ○ 看護師キャリア開発取組状況 ◇ 看護師養成学校との連携 岸和田市医師会看護学校 講義、実習の受入 久米田看護専門学校 講義、(実習受入は、H24から) ◇ 専門・認定看護師教育課程実習受入 5教育課程(がん看護CNS、感染管理、皮膚・排泄、がん性疼痛、脳リハCN) ◇ 看護師キャリア開発支援 専門・認定看護師の育成(専門2名、認定2名、教育課程修了4名) リンパセラピスト 2名、緩和ケアナース 2名の育成</p>
<p>市民病 院から の情報 発信</p>	<p>健康教 育・啓発 活動</p>	<p>○ 市民講座、セミナーの実施</p>	<p>○ 市民講座 平成23年度開催状況 講座テーマ:「これだけは知っておきたい@生活習慣病と認知症」 △「糖尿病の原因、予防、治療について」 平成23年11月19日(土)開催 参加者: 30名 循環器部長 松田光雄 対象: 一般 △「喫煙と病气」 平成23年12月10日(土)開催 参加者: 28名 呼吸器外科部長 加藤元一 対象: 一般 △「脳卒中の原因、予防、治療について」 平成24年1月21日(土)開催 参加者: 42名 脳神経外科部長 岩室康司 対象: 一般</p>
<p>市民等 への理 解を求 める努 めにつ いて</p>	<p>広報活 動</p>	<p>○ 患者、家族、市民対象のロビーコンサート実施</p>	<p>○ 患者、家族、市民の「こころの癒しの実施として(ロビーコンサート)の開催」 平成23年7月7日(木)PM:6:40~8:05 七タロビーコンサート 三味線、リコーダー、コーラスなど オーケストラ演奏 平成24年2月1日(水)PM:6:40~7:50 早春ロビーコンサート フルート、ピアノ演奏ほか</p>
<p>市民等 への理 解を求 める努 めにつ いて</p>	<p>広報活 動</p>	<p>○ 各種広報活動の取組 ◇ 市民病院だより「みずなす」を平成23年4月から創刊しました。 ◇ 平成23年10月にホームページを一新しました。 なお、ホームページについては、常に利用の利便向上を目的し、見直しを図っています。 ◇ 地域医療連携ニュースのカラー版変更</p>	<p>◇ 市民病院が、より身近に感じられるよう市民病院だより「みずなす」を毎月1回発行、ロビーなどのブックンセルターに配置しています。 ◇ ホームページについては、患者さんや、医療従事者、そして市民の方々など様々な利用者に、より親しみやすく、知りたい情報が分かることを目指し、ホームページを一新しました。 ◇ 視覚的インパクトの強化のため、紙面をカラー版に変更、また、診療科の紹介及び紙面裏面には、がん診療連携拠点病院関連ニュースを必ず掲載するように考えています。 ◇ 5月12日の「看護の日」に由来し、病院や看護の活動を広報するめに実施しています。地域に看護の心、ケアの心、掛け合いの心を広げる機会とするもので体幹や簡単な測定、院内見学やアトラクションなどを行っています。(平成23年5月21日(木)13:00~16:00実施) ◇ 災害全員訓練は、平成19年度から行っています。その折には、岸和田市救急隊員や岸和田市医師会看護専門学校、生徒さんの協力参加を募り活動を支援してもらっています。</p>

経営改善計画実績 編

平成22年度、平成23年度 二カ年経営改善計画 個別評価表

実施目標	実施項目	取り組み内容	実績及びデータ	備考																																																																																		
収益の確保	収益の増強	<p>○DPC対象病院としての診療単価の評価 調整係数の段階的廃止を前提とし、機能評価係数Ⅱが導入されたことにより、複雑性係数およびカバー率係数が県二次医療圏では高く産科を除き、診療科が揃っている点が高く評価されました。</p>	<p>実績及びデータ</p> <table border="1"> <tr> <td>入院延患者数</td> <td>118,957</td> <td>一日当入院数</td> <td>326</td> <td>外来延患者数</td> <td>290,806</td> <td>病床利用率</td> <td>81.5</td> </tr> <tr> <td>H21年度実績</td> <td>122,035</td> <td>H22年度実績</td> <td>334</td> <td>H22年度実績</td> <td>290,026</td> <td>H22年度実績</td> <td>83.8</td> </tr> <tr> <td>H22年度実績</td> <td>124,670</td> <td>H23年度実績</td> <td>341</td> <td>H23年度実績</td> <td>289,517</td> <td>H23年度実績</td> <td>85.2</td> </tr> <tr> <td>プラン最終年度計画</td> <td>133,955</td> <td>△ 366</td> <td>306,295</td> <td>1,255</td> <td>91.5</td> </tr> <tr> <td>対H23計画差</td> <td>△ 9,285</td> <td>△ 25</td> <td>△ 16,778</td> <td>△ 68</td> <td>△ 6.3</td> </tr> <tr> <td>対H23実績差</td> <td>2,635</td> <td>7</td> <td>△ 509</td> <td>△ 7</td> <td>1.8</td> </tr> </table> <p>単位：千円・稼げ 単位：円・稼げ 単位：千円・稼げ 単位：円・稼げ</p> <table border="1"> <tr> <td>入院収益</td> <td>6,172,753</td> <td>入院一人当</td> <td>51,988</td> <td>外来収益</td> <td>3,313,514</td> <td>外来一人当</td> <td>11,393</td> </tr> <tr> <td>H21年度実績</td> <td>6,894,872</td> <td>H22年度実績</td> <td>54,778</td> <td>H22年度実績</td> <td>3,566,296</td> <td>H22年度実績</td> <td>12,296</td> </tr> <tr> <td>H22年度実績</td> <td>6,899,711</td> <td>H23年度実績</td> <td>55,344</td> <td>H23年度実績</td> <td>3,680,842</td> <td>H23年度実績</td> <td>12,714</td> </tr> <tr> <td>プラン最終年度計画</td> <td>7,075,808</td> <td>△ 52,822</td> <td>3,337,355</td> <td>10,896</td> </tr> <tr> <td>対H23計画差</td> <td>△ 176,097</td> <td>2,522</td> <td>343,487</td> <td>1,818</td> </tr> <tr> <td>対H23実績差</td> <td>214,839</td> <td>566</td> <td>114,546</td> <td>418</td> </tr> </table>	入院延患者数	118,957	一日当入院数	326	外来延患者数	290,806	病床利用率	81.5	H21年度実績	122,035	H22年度実績	334	H22年度実績	290,026	H22年度実績	83.8	H22年度実績	124,670	H23年度実績	341	H23年度実績	289,517	H23年度実績	85.2	プラン最終年度計画	133,955	△ 366	306,295	1,255	91.5	対H23計画差	△ 9,285	△ 25	△ 16,778	△ 68	△ 6.3	対H23実績差	2,635	7	△ 509	△ 7	1.8	入院収益	6,172,753	入院一人当	51,988	外来収益	3,313,514	外来一人当	11,393	H21年度実績	6,894,872	H22年度実績	54,778	H22年度実績	3,566,296	H22年度実績	12,296	H22年度実績	6,899,711	H23年度実績	55,344	H23年度実績	3,680,842	H23年度実績	12,714	プラン最終年度計画	7,075,808	△ 52,822	3,337,355	10,896	対H23計画差	△ 176,097	2,522	343,487	1,818	対H23実績差	214,839	566	114,546	418	<p>○地域医療支援病院施設基準の取得 平成21年度末での紹介率、逆紹介率が同施設基準に適合したことから、地域医療支援病院の知事承認を得る手続を行い、平成22年11月19日に承認を得ました。 なお、地域医療の充実推進のために、本院において、行政、医師会、産科医師会、薬剤師会、救急医療関連団体、学識経験者、市民、病院職員の各代表による地域医療支援委員会を開催し毎年4回を目安として、地域医療支援の推進について協議しています。 平成22年度 1回(12月開催) 平成23年度 3回(7.9.12月開催)</p>	<p>○地域医療支援病院について 「地域医療支援病院」とは平成9年第三次医療法改正で創設された制度であり、地域の「かかりつけ医」からの紹介患者に対する医療提供、「かかりつけ医」の医療機器、ベッド等の共同利用や研修等を通じて「かかりつけ医」を支援し、地域医療体制の中核を担う病院として、都道府県知事から承認された医療施設です。 H22.9～ 単位：人 平成22年度 933人 平成23年度 1,297人 延利用者数</p>
入院延患者数	118,957	一日当入院数	326	外来延患者数	290,806	病床利用率	81.5																																																																															
H21年度実績	122,035	H22年度実績	334	H22年度実績	290,026	H22年度実績	83.8																																																																															
H22年度実績	124,670	H23年度実績	341	H23年度実績	289,517	H23年度実績	85.2																																																																															
プラン最終年度計画	133,955	△ 366	306,295	1,255	91.5																																																																																	
対H23計画差	△ 9,285	△ 25	△ 16,778	△ 68	△ 6.3																																																																																	
対H23実績差	2,635	7	△ 509	△ 7	1.8																																																																																	
入院収益	6,172,753	入院一人当	51,988	外来収益	3,313,514	外来一人当	11,393																																																																															
H21年度実績	6,894,872	H22年度実績	54,778	H22年度実績	3,566,296	H22年度実績	12,296																																																																															
H22年度実績	6,899,711	H23年度実績	55,344	H23年度実績	3,680,842	H23年度実績	12,714																																																																															
プラン最終年度計画	7,075,808	△ 52,822	3,337,355	10,896																																																																																		
対H23計画差	△ 176,097	2,522	343,487	1,818																																																																																		
対H23実績差	214,839	566	114,546	418																																																																																		
収益の増強	収益の増強	<p>○診療報酬改定と平成22年度の動向 平成22年度は、救急、産科、小児、外科等医療の再建、病院勤務医の負担軽減となっており、救急医療、急性期医療を「あり方」とする当院にとっては、プラスの要因となりました。 特に、地域医療支援病院の評価をはじめ、難易度の高い手術料の増加、救急医療、医師事務補助、看護事務補助員の配置に対する評価などが、増収に寄与しました。 ○平成23年度の動向 平成23年度は、引き続き、外科、循環器内科、消化器内科、整形外科、脳神経外科、耳鼻いんこう科、眼科など全般的に手術件数の伸びが顕著であり、手術料及び入院料の増収となりました。医師数も、平成22年度末は正病、嘱託を合わせ103名のスタッフでありましたが、平成23年度末は106名と増加したことも要因と言えます。</p>	<p>実績及びデータ</p> <table border="1"> <tr> <td>入院延患者数</td> <td>118,957</td> <td>一日当入院数</td> <td>326</td> <td>外来延患者数</td> <td>290,806</td> <td>病床利用率</td> <td>81.5</td> </tr> <tr> <td>H21年度実績</td> <td>122,035</td> <td>H22年度実績</td> <td>334</td> <td>H22年度実績</td> <td>290,026</td> <td>H22年度実績</td> <td>83.8</td> </tr> <tr> <td>H22年度実績</td> <td>124,670</td> <td>H23年度実績</td> <td>341</td> <td>H23年度実績</td> <td>289,517</td> <td>H23年度実績</td> <td>85.2</td> </tr> <tr> <td>プラン最終年度計画</td> <td>133,955</td> <td>△ 366</td> <td>306,295</td> <td>1,255</td> <td>91.5</td> </tr> <tr> <td>対H23計画差</td> <td>△ 9,285</td> <td>△ 25</td> <td>△ 16,778</td> <td>△ 68</td> <td>△ 6.3</td> </tr> <tr> <td>対H23実績差</td> <td>2,635</td> <td>7</td> <td>△ 509</td> <td>△ 7</td> <td>1.8</td> </tr> </table> <p>単位：千円・稼げ 単位：円・稼げ 単位：千円・稼げ 単位：円・稼げ</p> <table border="1"> <tr> <td>入院収益</td> <td>6,172,753</td> <td>入院一人当</td> <td>51,988</td> <td>外来収益</td> <td>3,313,514</td> <td>外来一人当</td> <td>11,393</td> </tr> <tr> <td>H21年度実績</td> <td>6,894,872</td> <td>H22年度実績</td> <td>54,778</td> <td>H22年度実績</td> <td>3,566,296</td> <td>H22年度実績</td> <td>12,296</td> </tr> <tr> <td>H22年度実績</td> <td>6,899,711</td> <td>H23年度実績</td> <td>55,344</td> <td>H23年度実績</td> <td>3,680,842</td> <td>H23年度実績</td> <td>12,714</td> </tr> <tr> <td>プラン最終年度計画</td> <td>7,075,808</td> <td>△ 52,822</td> <td>3,337,355</td> <td>10,896</td> </tr> <tr> <td>対H23計画差</td> <td>△ 176,097</td> <td>2,522</td> <td>343,487</td> <td>1,818</td> </tr> <tr> <td>対H23実績差</td> <td>214,839</td> <td>566</td> <td>114,546</td> <td>418</td> </tr> </table>	入院延患者数	118,957	一日当入院数	326	外来延患者数	290,806	病床利用率	81.5	H21年度実績	122,035	H22年度実績	334	H22年度実績	290,026	H22年度実績	83.8	H22年度実績	124,670	H23年度実績	341	H23年度実績	289,517	H23年度実績	85.2	プラン最終年度計画	133,955	△ 366	306,295	1,255	91.5	対H23計画差	△ 9,285	△ 25	△ 16,778	△ 68	△ 6.3	対H23実績差	2,635	7	△ 509	△ 7	1.8	入院収益	6,172,753	入院一人当	51,988	外来収益	3,313,514	外来一人当	11,393	H21年度実績	6,894,872	H22年度実績	54,778	H22年度実績	3,566,296	H22年度実績	12,296	H22年度実績	6,899,711	H23年度実績	55,344	H23年度実績	3,680,842	H23年度実績	12,714	プラン最終年度計画	7,075,808	△ 52,822	3,337,355	10,896	対H23計画差	△ 176,097	2,522	343,487	1,818	対H23実績差	214,839	566	114,546	418	<p>○診療報酬改定と平成22年度の動向 平成22年度は、救急、産科、小児、外科等医療の再建、病院勤務医の負担軽減となっており、救急医療、急性期医療を「あり方」とする当院にとっては、プラスの要因となりました。 特に、地域医療支援病院の評価をはじめ、難易度の高い手術料の増加、救急医療、医師事務補助、看護事務補助員の配置に対する評価などが、増収に寄与しました。 ○平成23年度の動向 平成23年度は、引き続き、外科、循環器内科、消化器内科、整形外科、脳神経外科、耳鼻いんこう科、眼科など全般的に手術件数の伸びが顕著であり、手術料及び入院料の増収となりました。医師数も、平成22年度末は正病、嘱託を合わせ103名のスタッフでありましたが、平成23年度末は106名と増加したことも要因と言えます。</p>	
入院延患者数	118,957	一日当入院数	326	外来延患者数	290,806	病床利用率	81.5																																																																															
H21年度実績	122,035	H22年度実績	334	H22年度実績	290,026	H22年度実績	83.8																																																																															
H22年度実績	124,670	H23年度実績	341	H23年度実績	289,517	H23年度実績	85.2																																																																															
プラン最終年度計画	133,955	△ 366	306,295	1,255	91.5																																																																																	
対H23計画差	△ 9,285	△ 25	△ 16,778	△ 68	△ 6.3																																																																																	
対H23実績差	2,635	7	△ 509	△ 7	1.8																																																																																	
入院収益	6,172,753	入院一人当	51,988	外来収益	3,313,514	外来一人当	11,393																																																																															
H21年度実績	6,894,872	H22年度実績	54,778	H22年度実績	3,566,296	H22年度実績	12,296																																																																															
H22年度実績	6,899,711	H23年度実績	55,344	H23年度実績	3,680,842	H23年度実績	12,714																																																																															
プラン最終年度計画	7,075,808	△ 52,822	3,337,355	10,896																																																																																		
対H23計画差	△ 176,097	2,522	343,487	1,818																																																																																		
対H23実績差	214,839	566	114,546	418																																																																																		



実施目標	実施項目	取り組み内容	実績及びデータ	備考
------	------	--------	---------	----

○医師、看護師の確保について
 医師の動向
 平成22年度は、平成19年度より休診となっていた、神経内科の常勤医を確保することができました。
 平成23年度は、腫瘍内科常勤医の獲得及び消化器内科の医師数増加 8人→10人、整形外科医師数 3人→5人、病理診断医 1人→2人などの医師数の増加など総勢103名→108名(正規、嘱託年度平均合計)の確保しました。
 初期研修医に当院をもっと身近に感じてもらうために、DVD作成や、医学生への病院見学会を活発に行うなどの対策を講じました。
 産婦人科常勤医獲得のため、大学医局への要望は当然に女性特有の疾患に対する市民講座などを開始するなど機運醸成に努めました。

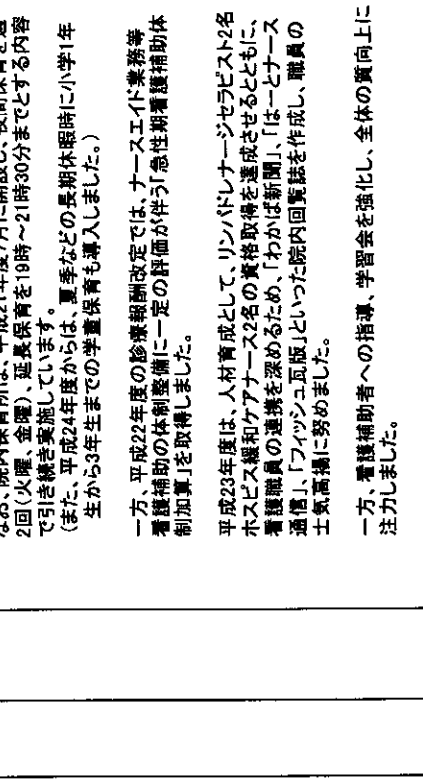
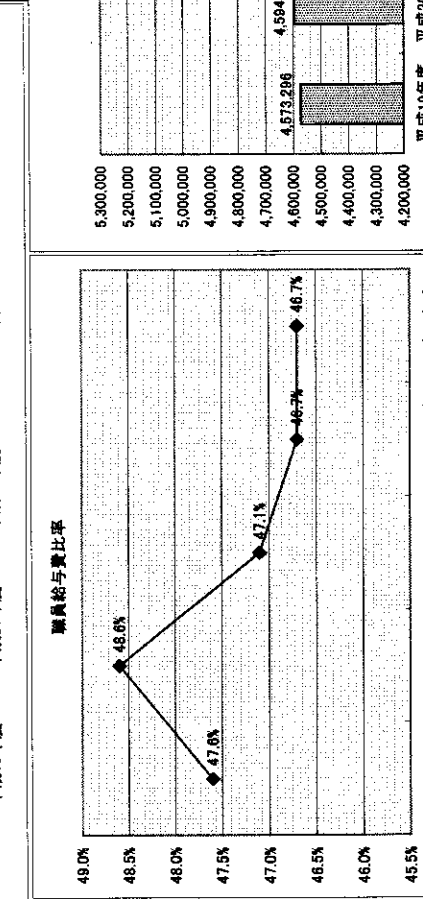
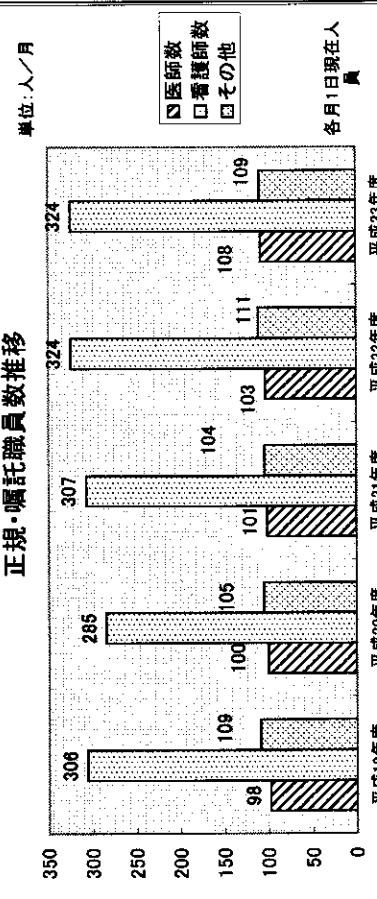
看護師の動向
 看護職員の人材確保については、院外での合同就職説明会、院内の就職説明会を実施したほか、求人広告、パンフレット作成などを行いました。また、定期採用以外に、随時採用枠についても頻度を上げて実施しました。(H21、4回 H22、5回 H23、6回)
 さらに、新人看護職員の臨床実践能力を高めるため、平成21年7月に、*関係する法律も改正され、新人看護職員臨床研修に努力義務が課されたことに伴い、本院での体制整備を行うとともに、二次医療圏の3施設の新人看護職員の研修も受け入れて実施しました。
 次に、看護師の働きやすい職場環境を目指し、その体制を整備する中で、2交替制の導入を実施しました。
 なお、院内保育園は、平成21年度7月に開設し、夜間保育を週2回(火曜、金曜)、延長保育を19時～21時30分までとする内容で引き続き実施しています。
 (また、平成24年度からは、夏季などの長期休暇時に小学1年生から3年生までの学童保育も導入しました。)

一方、平成22年度の診療報酬改定では、ナースエイド業務等看護補助の体制整備に一定の評価が伴う「急性期看護補助体制加算」を取得しました。
 平成23年度は、人材育成として、リンパドレナージセラピスト2名、ホスピス緩和ケアナース2名の資格取得を達成させるとともに、看護職員の連携を深めるため、「わかば新聞」、「はーとナース通信」、「フィッシュ缶版」といった院内回覧誌を作成し、職員の士気高揚に努めました。
 一方、看護補助者への指導、学習会を強化し、全体の質向上に注力しました。

単位:人		単位:千円・税込	
	計画	実績	計画
医師	102	100	1,878,347
看護師	331	307	1,935,676
その他	111	104	1,486,722
正規・嘱託計	536	511	721,274
臨時職員	95	136	536,570
うち看護師	19	58	147,824
うち看護補助	77	1	388,746
総員	651	647	5,088,828

単位:人/月		単位:千円・税込	
	計画	実績	計画
給料	84,249	1,980,700	2,064,949
手当	148,189	1,599,151	1,747,340
賞金	191,171	789,544	598,373
法定福利	47,453	595,698	548,245
退職金	82,203	237,203	155,000
人件費計	88,389	5,202,296	5,113,907

単位:人		単位:千円	
	計画	実績	計画
医師数	102	100	1,878,347
看護師数	331	307	1,935,676
その他	111	104	1,486,722
合計	544	511	5,202,296



平成22年度、平成23年度 二カ年経営改善計画 個別評価表

実施目標	実施項目	取組内容																																																																																												
<p>費用の効率化 薬品購買の見直しについて</p>	<p>実施項目 実績及びデータ</p>	<p>取組内容</p>																																																																																												
<p>薬品購買の現状</p> <p>がん医療推進に伴い、抗がん剤の使用量が増え、特に単位取引あたりの単価が高いため、注射薬を中心に購買額が伸びる傾向にあります。特に、平成22年度では、血液内科を中心に症例に合わせた限定薬の使用が目立ったことで、大きく伸びています。</p> <p>※「症例限定薬」：患者限定であり、患者の治療終了とともに採用廃止となるもの。 当院での薬品採用の取り決めです。</p>	<p>実績及びデータ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬品</th> <th>H21年度実績</th> <th>H22年度実績</th> <th>H23年度実績</th> <th>計画比較22年度</th> <th>計画比較23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医薬品</td> <td>10,139,466</td> <td>10,953,335</td> <td>11,210,001</td> <td>11,091,885</td> <td>118,116</td> </tr> <tr> <td>医薬収益</td> <td>1,281,413</td> <td>1,473,542</td> <td>1,441,927</td> <td>1,249,759</td> <td>192,168</td> </tr> <tr> <td>医薬品費</td> <td>12.64%</td> <td>13.45%</td> <td>12.80%</td> <td>11.27%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対決算増加額</td> <td>192,129</td> <td>△ 31,615</td> <td>1,271,929</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計画増減加予率</td> <td></td> <td></td> <td>△ 21,870</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>初算予定額</td> <td></td> <td></td> <td>△ 21,870</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>薬品費対医薬収益比率推移</p> <p>薬品費対医薬収益比率推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>比率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成20年度</td> <td>11.93%</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>12.64%</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>13.45%</td> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>12.80%</td> </tr> </tbody> </table> <p>薬剤別購入品数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>内服薬</th> <th>外用薬</th> <th>注射薬</th> <th>点滴薬</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成21年度</td> <td>551</td> <td>202</td> <td>461</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>585</td> <td>210</td> <td>521</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>585</td> <td>206</td> <td>512</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table> <p>薬剤別使用金額 年度末比較</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>内服薬</th> <th>外用薬</th> <th>注射薬</th> <th>点滴薬</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成21年度</td> <td>84,653</td> <td>35,203</td> <td>1,142,072</td> <td>18,485</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>127,102</td> <td>35,338</td> <td>1,291,045</td> <td>19,997</td> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>121,469</td> <td>34,748</td> <td>1,265,809</td> <td>18,901</td> </tr> </tbody> </table> <p>金額占有率</p> <p>数量占有率</p>	薬品	H21年度実績	H22年度実績	H23年度実績	計画比較22年度	計画比較23年度	医薬品	10,139,466	10,953,335	11,210,001	11,091,885	118,116	医薬収益	1,281,413	1,473,542	1,441,927	1,249,759	192,168	医薬品費	12.64%	13.45%	12.80%	11.27%		対決算増加額	192,129	△ 31,615	1,271,929			計画増減加予率			△ 21,870			初算予定額			△ 21,870			年度	比率 (%)	平成20年度	11.93%	平成21年度	12.64%	平成22年度	13.45%	平成23年度	12.80%	年度	内服薬	外用薬	注射薬	点滴薬	平成21年度	551	202	461	19	平成22年度	585	210	521	26	平成23年度	585	206	512	24	年度	内服薬	外用薬	注射薬	点滴薬	平成21年度	84,653	35,203	1,142,072	18,485	平成22年度	127,102	35,338	1,291,045	19,997	平成23年度	121,469	34,748	1,265,809	18,901	<p>取組内容</p> <p>○薬品購買額の低減への取組</p> <p>材料費全般は、各診療科の稼働状況、診療方針により大きく左右されるため、得率予測がしにくい費目であり、一方、交渉努力により、まとまった費用の圧縮も図れる費目であることから、交渉力強化を本院改善計画に盛り込んだものです。</p> <p>平成21年度からは、事務局のみの交渉ではなく、薬剤長にも協力を仰ぎ実施しました。</p> <p>平成21年度の値引き総額は、約1,100万円 平成22年度の値引き総額は、約9,500万円 平成23年度の値引き総額は、約2,080万円 である。</p> <p>なお、平成22年度は、診療報酬改定により、薬価が6.75%下落しているため、大きく減少しています。</p> <p>しかしながら、医薬収益に占める薬品費の割合は13.45%と上昇したのは、平成21年度から泉州二次医療圏での血液内科医の不足問題により、当院への受診状況が変化し、一部症例で、症例限定薬が大量に使用されたことが要因です。</p> <p>薬品購買に関しては、薬剤師、事務局の協同により、値引き交渉を進めると共に、購買後の在庫管理については、不動薬品の洗い出し、削除する薬品については、使い切るまで呼びかけを行うなど実施しました。</p> <p>さらに、平成23年度では、血液内科常勤医が平成24年度より引き継げるため、使用されない薬品については、返品を行うなど整理を行ったことにより、購買額が減少したものです。</p>
薬品	H21年度実績	H22年度実績	H23年度実績	計画比較22年度	計画比較23年度																																																																																									
医薬品	10,139,466	10,953,335	11,210,001	11,091,885	118,116																																																																																									
医薬収益	1,281,413	1,473,542	1,441,927	1,249,759	192,168																																																																																									
医薬品費	12.64%	13.45%	12.80%	11.27%																																																																																										
対決算増加額	192,129	△ 31,615	1,271,929																																																																																											
計画増減加予率			△ 21,870																																																																																											
初算予定額			△ 21,870																																																																																											
年度	比率 (%)																																																																																													
平成20年度	11.93%																																																																																													
平成21年度	12.64%																																																																																													
平成22年度	13.45%																																																																																													
平成23年度	12.80%																																																																																													
年度	内服薬	外用薬	注射薬	点滴薬																																																																																										
平成21年度	551	202	461	19																																																																																										
平成22年度	585	210	521	26																																																																																										
平成23年度	585	206	512	24																																																																																										
年度	内服薬	外用薬	注射薬	点滴薬																																																																																										
平成21年度	84,653	35,203	1,142,072	18,485																																																																																										
平成22年度	127,102	35,338	1,291,045	19,997																																																																																										
平成23年度	121,469	34,748	1,265,809	18,901																																																																																										
<p>金額占有率</p>	<p>数量占有率</p>	<p>金額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>金額</th> <th>構成比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成22年度</td> <td>1,473,542</td> <td>8.33%</td> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>1,441,927</td> <td>8.33%</td> </tr> <tr> <td>薬品全体</td> <td>122,686</td> <td>6.81%</td> </tr> <tr> <td>うち後発品</td> <td>98,195</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年度	金額	構成比率	平成22年度	1,473,542	8.33%	平成23年度	1,441,927	8.33%	薬品全体	122,686	6.81%	うち後発品	98,195																																																																														
年度	金額	構成比率																																																																																												
平成22年度	1,473,542	8.33%																																																																																												
平成23年度	1,441,927	8.33%																																																																																												
薬品全体	122,686	6.81%																																																																																												
うち後発品	98,195																																																																																													
<p>品目数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>品目数</th> <th>構成比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成22年度</td> <td>1,781</td> <td>5.78%</td> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>1,830</td> <td>5.90%</td> </tr> <tr> <td>薬品全体</td> <td>103</td> <td></td> </tr> <tr> <td>うち後発品</td> <td>108</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年度	品目数	構成比率	平成22年度	1,781	5.78%	平成23年度	1,830	5.90%	薬品全体	103		うち後発品	108		<p>金額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>金額</th> <th>構成比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成22年度</td> <td>1,473,542</td> <td>8.33%</td> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>1,441,927</td> <td>8.33%</td> </tr> <tr> <td>薬品全体</td> <td>122,686</td> <td>6.81%</td> </tr> <tr> <td>うち後発品</td> <td>98,195</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年度	金額	構成比率	平成22年度	1,473,542	8.33%	平成23年度	1,441,927	8.33%	薬品全体	122,686	6.81%	うち後発品	98,195		<p>○ジェネリック薬への切り替えの取組</p> <p>ジェネリック薬への切り替えについては、金額だけの選定ではなく、薬品に対する情報量の多寡などからも検討を加えるべきであり、そのため、院内の薬事審議会を通じてその採用を決定するものがあります。</p>																																																														
年度	品目数	構成比率																																																																																												
平成22年度	1,781	5.78%																																																																																												
平成23年度	1,830	5.90%																																																																																												
薬品全体	103																																																																																													
うち後発品	108																																																																																													
年度	金額	構成比率																																																																																												
平成22年度	1,473,542	8.33%																																																																																												
平成23年度	1,441,927	8.33%																																																																																												
薬品全体	122,686	6.81%																																																																																												
うち後発品	98,195																																																																																													

<p>実施目標</p>	<p>実施項目</p> <p>取り組み内容</p> <p>○診療材料購買額の圧縮の取り組み</p> <p>診療材料購買については、主要取引メーカーに対し、コンサルタントによるベンチマーク価格比較を行い、評価の悪い、高値となっている材料を中心に適正価格への変更交渉と、さらに、妥当価格については、優良価格となるよう交渉を行いました。</p> <p>プラン実施前では、年度当初に見積もり合わせを行った後、年度末まで同一価格での取引であったが、交渉強化により、期中でも交渉成立後、メーカーとの合意期日から新価格を実施。また、了解が得られれば、遡り適用も実施してもらったなどの協力を申し出ました。</p> <p>また、取引上位品目に注目し、取引量が增加する見込みのものを中心に値引き交渉を行うなど、常に取引業者と交渉し、地道に値引き額を積み重ねました。</p> <p>交渉結果は、 平成22年度値引き額は、365万円程度 平成23年度値引き額は、140万円程度であった。</p> <p>価格値引きが最も成立し易いのは、同一品の大量購買ですが、診療材料は、各診療科の診療方針により取引品目が変動することは避けられませんが、 じかしながら、できる限りDr.の了解を得て、メーカー統一、使用材料統一など実施し、診療に影響を及ぼさず、必要な材料を安価で調達することを目標としています。</p>
-------------	---

<p>費用の効率化</p> <p>材料購買の見直しについて</p>	<p>実績及びヒータ</p> <table border="1"> <tr> <td>診療材料</td> <td>H21年度実績</td> <td>H22年度実績</td> <td>H23年度実績</td> <td>プラン最終年度計画</td> <td>計画比較23-22</td> <td>単位:千円・税抜</td> </tr> <tr> <td>医業収益</td> <td>10,139,468</td> <td>10,953,339</td> <td>11,210,001</td> <td>11,091,885</td> <td>118,116</td> <td>256,666</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>1,484,955</td> <td>1,437,944</td> <td>1,473,879</td> <td>1,773,225</td> <td>△ 299,346</td> <td>35,935</td> </tr> <tr> <td>計画時高増加率</td> <td>14.85%</td> <td>13.13%</td> <td>13.15%</td> <td>15.99%</td> <td>-263.43%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>効果予定額</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>△ 8,474</td> <td>△ 8,474</td> <td></td> </tr> </table> <p>○診療材料の大分類内訳</p> <table border="1"> <tr> <td>購買額明細</td> <td>平成21年度実績</td> <td>平成22年度実績</td> <td>平成23年度実績</td> <td>22-21比較</td> <td>23-22比較</td> <td>単位:千円・税抜</td> </tr> <tr> <td>薬品材料(造影剤等)</td> <td>115,128</td> <td>103,893</td> <td>108,907</td> <td>△ 11,235</td> <td>5,014</td> <td></td> </tr> <tr> <td>検査試薬</td> <td>254,519</td> <td>247,291</td> <td>254,595</td> <td>△ 7,228</td> <td>7,304</td> <td></td> </tr> <tr> <td>歯科材料</td> <td>4,298</td> <td>2,845</td> <td>4,805</td> <td>△ 1,413</td> <td>1,960</td> <td></td> </tr> <tr> <td>検査</td> <td>9,050</td> <td>9,223</td> <td>7,900</td> <td>163</td> <td>△ 1,323</td> <td></td> </tr> <tr> <td>血液</td> <td>181,612</td> <td>161,210</td> <td>104,005</td> <td>△ 20,402</td> <td>△ 57,205</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アイントープ</td> <td>88,942</td> <td>89,854</td> <td>107,919</td> <td>712</td> <td>17,365</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般診療材料</td> <td>831,436</td> <td>823,828</td> <td>886,648</td> <td>△ 7,608</td> <td>62,820</td> <td></td> </tr> <tr> <td>診療材料計</td> <td>1,484,955</td> <td>1,437,944</td> <td>1,473,879</td> <td>△ 47,011</td> <td>35,939</td> <td></td> </tr> </table> <p>総診療材料大分類別購買額推移</p> <p>○医療消耗備品の購買について</p> <p>手術室配置の調整(小物(剪刀)などの依頼が増加傾向にあります。特に、外科、形成再建外科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、整形外科、心臓血管外科、歯科外科など、外科系診療科の手術室の維持または向上に向けた更新や新規購買が増加しました。診療科Dr.の世代交代により、現在水準に合わせたものが目立つようになっています。しかしながら、これらについては、診療実績の要因を形成するため、過度の抑制は逆効果と判断したため、計画値を超過する結果ではありますが、実施いたしました。</p>	診療材料	H21年度実績	H22年度実績	H23年度実績	プラン最終年度計画	計画比較23-22	単位:千円・税抜	医業収益	10,139,468	10,953,339	11,210,001	11,091,885	118,116	256,666	診療材料費	1,484,955	1,437,944	1,473,879	1,773,225	△ 299,346	35,935	計画時高増加率	14.85%	13.13%	13.15%	15.99%	-263.43%		効果予定額				△ 8,474	△ 8,474		購買額明細	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	22-21比較	23-22比較	単位:千円・税抜	薬品材料(造影剤等)	115,128	103,893	108,907	△ 11,235	5,014		検査試薬	254,519	247,291	254,595	△ 7,228	7,304		歯科材料	4,298	2,845	4,805	△ 1,413	1,960		検査	9,050	9,223	7,900	163	△ 1,323		血液	181,612	161,210	104,005	△ 20,402	△ 57,205		アイントープ	88,942	89,854	107,919	712	17,365		一般診療材料	831,436	823,828	886,648	△ 7,608	62,820		診療材料計	1,484,955	1,437,944	1,473,879	△ 47,011	35,939	
診療材料	H21年度実績	H22年度実績	H23年度実績	プラン最終年度計画	計画比較23-22	単位:千円・税抜																																																																																													
医業収益	10,139,468	10,953,339	11,210,001	11,091,885	118,116	256,666																																																																																													
診療材料費	1,484,955	1,437,944	1,473,879	1,773,225	△ 299,346	35,935																																																																																													
計画時高増加率	14.85%	13.13%	13.15%	15.99%	-263.43%																																																																																														
効果予定額				△ 8,474	△ 8,474																																																																																														
購買額明細	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	22-21比較	23-22比較	単位:千円・税抜																																																																																													
薬品材料(造影剤等)	115,128	103,893	108,907	△ 11,235	5,014																																																																																														
検査試薬	254,519	247,291	254,595	△ 7,228	7,304																																																																																														
歯科材料	4,298	2,845	4,805	△ 1,413	1,960																																																																																														
検査	9,050	9,223	7,900	163	△ 1,323																																																																																														
血液	181,612	161,210	104,005	△ 20,402	△ 57,205																																																																																														
アイントープ	88,942	89,854	107,919	712	17,365																																																																																														
一般診療材料	831,436	823,828	886,648	△ 7,608	62,820																																																																																														
診療材料計	1,484,955	1,437,944	1,473,879	△ 47,011	35,939																																																																																														

<p>備考</p> <p>○診療材料購買の推移</p> <p>検査試薬は、平成23年度取引メーカーの集約を行い、単価の見直しを実施しました。また、院内検査と比較し、コスト増となる外注検査も検査処理速度向上の一環として院内に振り向けました。</p> <p>平成22年度から、血液内科常勤医師が1名となり、平成24年度当初に引き揚げとなりました。</p> <p>経過を辿って、血液購買額が減っています。これは、泉州二次医療圏で血液内科医師が不足している状況下で、当院に患者が集中したこともあり、平成21年度では、大量に購買を行いました。医師の減少と共に、購買額が減少しています。</p> <p>一般材料では、外科系、整形外科系、循環器系材料が治療件数と比例し増加しました。特に整形外科では、インプラント、循環器では、心臓再同期療法に使用するペースメーカーなどが多く使用されたため増加しています。</p> <p>(左 大分類内訳参照)</p>
--

平成22年度、平成23年度 二カ年経営改善計画 個別評価表

実施目標	実施項目	取り組み内容																																																																																																																									
委託料見直し	<p>○委託料見直しへの取り組み</p> <p>委託料全般について、平成21年度に引き続きその抑制を図りました。</p> <p>特に平成22年度は、医療機器保守委託料の中身を吟味し、必要性の低い保守料を廃止しました。</p> <p>なお、人的委託については、派遣法の改正による影響で、直接雇用に切り替えるなど費目の変動が生じました。</p>	<p>取り組み内容</p>																																																																																																																									
委託料見直し	<p>△ 医事会計については、毎年業務効率化による配置見直しを契約に反映させるとともに、契約額の圧縮をはかりました。</p> <p>△ 平成23年度は、業者選定を行いました。</p> <p>△ 医師専務作業補助は、医師の負担軽減策として、診療報酬の範囲内で措置したものです。</p> <p>△ 物品管理については、平成21年度の見直し価格による過年ベース面格となったため、前年度よりさらに減少したものの、給食業務では業務量の見直しに伴い増加しました。</p> <p>△ 廃棄物処理は、費用が上昇傾向にあるため、平成23年度に、廃棄物容量の減少のため、容器破砕機をリースし、容量減に努めました。</p> <p>△ 寝具・白衣洗濯業務では、白衣については、医師数、看護師数の増加により、数量の増加とともに増加しました。</p> <p>△ 看護補助業務は、ナースエイドについては、臨時雇用とし、委託業務を廃止したため皆減となりましたが、平成22年度診療報酬改定で新設された、看護補助体制加算の範囲内で、看護師の業務軽減を行うため、ナースアシスタントを導入しました。</p> <p>△ 院内保育所委託業務は、医療従事者福利厚生のため平成20年度より実施したものです。</p> <p>平成20年7月開始：定員15名 利用園児 5名 一時利用 1名 平成24年3月現在：定員35名 利用園児 17名 一時利用 9名</p>	<p>取り組み内容</p>																																																																																																																									
委託料見直し	<p>△ 機械保守等その他の委託料について</p> <p>△ 平成22年度は、CT2台の現産担保期間であったことと、体外監視装置(モニター)保守について、機器の保守の必要性を検討し、重要性の乏しい保守を打ち切ったため、対前年度減少しています。</p> <p>△ 平成23年度は、CT2台の保守が開始されたため、増加したものです。</p> <p>△ 電算システム保守については、院内情報システムの保守について、部門システムにメリハリをつけ、不要な保守をカットしました。なお、平成23年度は、放射線画像情報システムの保守が開始されたため増加しています。</p> <p>△ 外注検査は、検査のあり方が外注から院内へシフトされており、減少したものです。</p>	<p>取り組み内容</p>																																																																																																																									
委託料見直し	<p>△ 委託料内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>委託料内訳</th> <th>H21年度実績</th> <th>H22年度実績</th> <th>H23年度実績</th> <th>計画</th> <th>最終年度計画</th> <th>計画比較23-計画</th> <th>最終年度計画</th> <th>計画比較23-計画</th> <th>最終年度計画</th> <th>計画比較23-計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人的委託</td> <td>946,137</td> <td>925,942</td> <td>929,698</td> <td>943,430</td> <td>943,430</td> <td>△ 13,732</td> <td>943,430</td> <td>△ 13,732</td> <td>943,430</td> <td>△ 13,732</td> </tr> <tr> <td>機械保守委託</td> <td>107,004</td> <td>97,861</td> <td>114,775</td> <td>134,561</td> <td>134,561</td> <td>△ 19,786</td> <td>134,561</td> <td>△ 19,786</td> <td>134,561</td> <td>△ 19,786</td> </tr> <tr> <td>電算システム保守委託</td> <td>70,273</td> <td>67,113</td> <td>72,719</td> <td>71,733</td> <td>71,733</td> <td>986</td> <td>71,733</td> <td>986</td> <td>71,733</td> <td>986</td> </tr> <tr> <td>施設整備委託</td> <td>41,856</td> <td>37,757</td> <td>37,438</td> <td>42,665</td> <td>42,665</td> <td>△ 5,227</td> <td>42,665</td> <td>△ 5,227</td> <td>42,665</td> <td>△ 5,227</td> </tr> <tr> <td>附帯・その他委託</td> <td>76,790</td> <td>34,213</td> <td>15,334</td> <td>10,164</td> <td>10,164</td> <td>△ 5,170</td> <td>10,164</td> <td>△ 5,170</td> <td>10,164</td> <td>△ 5,170</td> </tr> <tr> <td>委託料小計</td> <td>1,337,956</td> <td>1,273,959</td> <td>1,273,031</td> <td>1,297,331</td> <td>1,297,331</td> <td>△ 24,300</td> <td>1,297,331</td> <td>△ 24,300</td> <td>1,297,331</td> <td>△ 24,300</td> </tr> </tbody> </table> <p>単位：千円・税抜</p>	委託料内訳	H21年度実績	H22年度実績	H23年度実績	計画	最終年度計画	計画比較23-計画	最終年度計画	計画比較23-計画	最終年度計画	計画比較23-計画	人的委託	946,137	925,942	929,698	943,430	943,430	△ 13,732	943,430	△ 13,732	943,430	△ 13,732	機械保守委託	107,004	97,861	114,775	134,561	134,561	△ 19,786	134,561	△ 19,786	134,561	△ 19,786	電算システム保守委託	70,273	67,113	72,719	71,733	71,733	986	71,733	986	71,733	986	施設整備委託	41,856	37,757	37,438	42,665	42,665	△ 5,227	42,665	△ 5,227	42,665	△ 5,227	附帯・その他委託	76,790	34,213	15,334	10,164	10,164	△ 5,170	10,164	△ 5,170	10,164	△ 5,170	委託料小計	1,337,956	1,273,959	1,273,031	1,297,331	1,297,331	△ 24,300	1,297,331	△ 24,300	1,297,331	△ 24,300	<p>取り組み内容</p>																																												
委託料内訳	H21年度実績	H22年度実績	H23年度実績	計画	最終年度計画	計画比較23-計画	最終年度計画	計画比較23-計画	最終年度計画	計画比較23-計画																																																																																																																	
人的委託	946,137	925,942	929,698	943,430	943,430	△ 13,732	943,430	△ 13,732	943,430	△ 13,732																																																																																																																	
機械保守委託	107,004	97,861	114,775	134,561	134,561	△ 19,786	134,561	△ 19,786	134,561	△ 19,786																																																																																																																	
電算システム保守委託	70,273	67,113	72,719	71,733	71,733	986	71,733	986	71,733	986																																																																																																																	
施設整備委託	41,856	37,757	37,438	42,665	42,665	△ 5,227	42,665	△ 5,227	42,665	△ 5,227																																																																																																																	
附帯・その他委託	76,790	34,213	15,334	10,164	10,164	△ 5,170	10,164	△ 5,170	10,164	△ 5,170																																																																																																																	
委託料小計	1,337,956	1,273,959	1,273,031	1,297,331	1,297,331	△ 24,300	1,297,331	△ 24,300	1,297,331	△ 24,300																																																																																																																	
委託料見直し	<p>△ 人的委託内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>人的委託内容</th> <th>H21年度実績</th> <th>H22年度実績</th> <th>H23年度実績</th> <th>計画</th> <th>最終年度計画</th> <th>計画比較23-計画</th> <th>最終年度計画</th> <th>計画比較23-計画</th> <th>最終年度計画</th> <th>計画比較23-計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医事会計</td> <td>392,919</td> <td>379,605</td> <td>372,336</td> <td>389,968</td> <td>389,968</td> <td>△ 16,632</td> <td>389,968</td> <td>△ 16,632</td> <td>389,968</td> <td>△ 16,632</td> </tr> <tr> <td>医師専務作業補助</td> <td>13,730</td> <td>19,993</td> <td>29,694</td> <td>18,500</td> <td>18,500</td> <td>11,194</td> <td>18,500</td> <td>11,194</td> <td>18,500</td> <td>11,194</td> </tr> <tr> <td>秘書等派遣委託</td> <td>0</td> <td>21,841</td> <td>19,848</td> <td>0</td> <td>19,846</td> <td>△ 1,995</td> <td>19,846</td> <td>△ 1,995</td> <td>19,846</td> <td>△ 1,995</td> </tr> <tr> <td>物品・薬品・器具</td> <td>185,408</td> <td>168,221</td> <td>168,462</td> <td>163,337</td> <td>163,337</td> <td>5,125</td> <td>163,337</td> <td>5,125</td> <td>163,337</td> <td>5,125</td> </tr> <tr> <td>清掃・警備・中央監視</td> <td>170,990</td> <td>169,385</td> <td>169,185</td> <td>170,050</td> <td>170,050</td> <td>△ 865</td> <td>170,050</td> <td>△ 865</td> <td>170,050</td> <td>△ 865</td> </tr> <tr> <td>寝具・白衣洗濯</td> <td>91,504</td> <td>95,284</td> <td>96,125</td> <td>85,410</td> <td>85,410</td> <td>10,715</td> <td>85,410</td> <td>10,715</td> <td>85,410</td> <td>10,715</td> </tr> <tr> <td>看護補助</td> <td>77,167</td> <td>32,102</td> <td>33,607</td> <td>72,048</td> <td>72,048</td> <td>△ 38,441</td> <td>72,048</td> <td>△ 38,441</td> <td>72,048</td> <td>△ 38,441</td> </tr> <tr> <td>廃棄物処理</td> <td>16,085</td> <td>18,443</td> <td>19,580</td> <td>26,069</td> <td>26,069</td> <td>△ 6,489</td> <td>26,069</td> <td>△ 6,489</td> <td>26,069</td> <td>△ 6,489</td> </tr> <tr> <td>院内保育所</td> <td>18,334</td> <td>21,068</td> <td>20,863</td> <td>19,048</td> <td>19,048</td> <td>1,815</td> <td>19,048</td> <td>1,815</td> <td>19,048</td> <td>△ 205</td> </tr> <tr> <td>人的委託小計</td> <td>946,137</td> <td>925,942</td> <td>929,698</td> <td>943,430</td> <td>943,430</td> <td>△ 13,732</td> <td>943,430</td> <td>△ 13,732</td> <td>943,430</td> <td>△ 13,732</td> </tr> </tbody> </table> <p>単位：千円・税抜</p>	人的委託内容	H21年度実績	H22年度実績	H23年度実績	計画	最終年度計画	計画比較23-計画	最終年度計画	計画比較23-計画	最終年度計画	計画比較23-計画	医事会計	392,919	379,605	372,336	389,968	389,968	△ 16,632	389,968	△ 16,632	389,968	△ 16,632	医師専務作業補助	13,730	19,993	29,694	18,500	18,500	11,194	18,500	11,194	18,500	11,194	秘書等派遣委託	0	21,841	19,848	0	19,846	△ 1,995	19,846	△ 1,995	19,846	△ 1,995	物品・薬品・器具	185,408	168,221	168,462	163,337	163,337	5,125	163,337	5,125	163,337	5,125	清掃・警備・中央監視	170,990	169,385	169,185	170,050	170,050	△ 865	170,050	△ 865	170,050	△ 865	寝具・白衣洗濯	91,504	95,284	96,125	85,410	85,410	10,715	85,410	10,715	85,410	10,715	看護補助	77,167	32,102	33,607	72,048	72,048	△ 38,441	72,048	△ 38,441	72,048	△ 38,441	廃棄物処理	16,085	18,443	19,580	26,069	26,069	△ 6,489	26,069	△ 6,489	26,069	△ 6,489	院内保育所	18,334	21,068	20,863	19,048	19,048	1,815	19,048	1,815	19,048	△ 205	人的委託小計	946,137	925,942	929,698	943,430	943,430	△ 13,732	943,430	△ 13,732	943,430	△ 13,732	<p>取り組み内容</p>
人的委託内容	H21年度実績	H22年度実績	H23年度実績	計画	最終年度計画	計画比較23-計画	最終年度計画	計画比較23-計画	最終年度計画	計画比較23-計画																																																																																																																	
医事会計	392,919	379,605	372,336	389,968	389,968	△ 16,632	389,968	△ 16,632	389,968	△ 16,632																																																																																																																	
医師専務作業補助	13,730	19,993	29,694	18,500	18,500	11,194	18,500	11,194	18,500	11,194																																																																																																																	
秘書等派遣委託	0	21,841	19,848	0	19,846	△ 1,995	19,846	△ 1,995	19,846	△ 1,995																																																																																																																	
物品・薬品・器具	185,408	168,221	168,462	163,337	163,337	5,125	163,337	5,125	163,337	5,125																																																																																																																	
清掃・警備・中央監視	170,990	169,385	169,185	170,050	170,050	△ 865	170,050	△ 865	170,050	△ 865																																																																																																																	
寝具・白衣洗濯	91,504	95,284	96,125	85,410	85,410	10,715	85,410	10,715	85,410	10,715																																																																																																																	
看護補助	77,167	32,102	33,607	72,048	72,048	△ 38,441	72,048	△ 38,441	72,048	△ 38,441																																																																																																																	
廃棄物処理	16,085	18,443	19,580	26,069	26,069	△ 6,489	26,069	△ 6,489	26,069	△ 6,489																																																																																																																	
院内保育所	18,334	21,068	20,863	19,048	19,048	1,815	19,048	1,815	19,048	△ 205																																																																																																																	
人的委託小計	946,137	925,942	929,698	943,430	943,430	△ 13,732	943,430	△ 13,732	943,430	△ 13,732																																																																																																																	
委託料見直し	<p>委託料分類別推移</p> <p>委託料分類別推移</p> <p>単位：千円</p>	<p>取り組み内容</p>																																																																																																																									
委託料見直し	<p>人的委託の内訳</p> <p>人的委託の内訳</p> <p>単位：千円</p>	<p>取り組み内容</p>																																																																																																																									
委託料見直し	<p>備考</p>	<p>備考</p>																																																																																																																									

実施
目標

取り組み内容

○ 賃借料の見直しに係る取り組みについて

賃借料については、医療機器リースが平成23年度新規に発生していることと、医師数の増加に伴い、賃貸住宅の借上げ料が増加、職員駐車場確保などによる土地借料の増加が顕著となり、ただし、在宅酸素、人工呼吸器等の在宅関連レンタル料は、減少したため、管理リースの廃止の効果額と合わせて、計画内で推移する結果となりました。

◇ 個別科目の状況

△ 酸素濃縮器・人工呼吸器・その他機器賃借料は、在宅酸素療法、持続陽圧式人工呼吸器などの賃借料であり、平成21年度から、大口の取引業者との単価交渉は毎年継続しています。
人工呼吸器については、院内の人工呼吸器資産整備に合わせて単価交渉を行った結果、減少しました。

△ 医療機器リース料については、資産購入予定外に突発的、緊急的に購入に替えて対応したものであり、人工心臓装置、放射線画像保存装置システムなどです。
さらに、臨床検査搬送システムリースのリースが新規となったため、平成23年度から新規に増加しています。

△ 減容炉は、院内のプラスチック容器廃棄物の処分容量を減量し、以って処分費用の低減を目的とし、平成18年度から平成24年度まで債務負担行為により導入を行ったものです。さらに、廃棄物処理委託料の算定が容積と運動することからプラスチックを破砕して容量を減らすため、破砕機のリースを行ったものです。

△ 医師マンジョン借料は、医師公舎から溢れた常勤医師等について賃貸マンジョンを借り上げているものであり、確保医師の増加に伴い、増加しています。

△ 土地等借料は、病院駐車場敷地分であり、医師、看護士の増加に伴い、新たに駐車場土地を賃借したため土地借料は21年度から増加しています。

△ その他については、従前まで資産としていた病院用車両を平成22年度において、更新のもの2台をリース化したため増加しました。

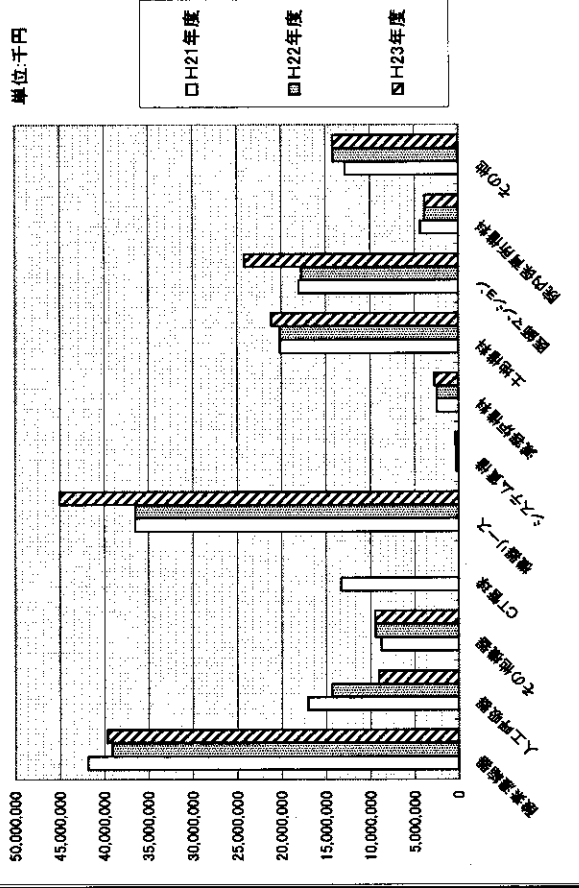
費用の
効率化
見直し

実績及びびデータ

賃借料内訳	H21年度実績	H22年度実績	H23年度実績	平成23年度実績	単位：千円・税抜
賃借料計	175,575	158,231	169,829	170,898	計画比較23-計画 △ 1,069
	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	単位：千円・税抜	最近実績比較22-22 11,598

賃借料内訳

酸素濃縮器	41,862	39,128	39,856
人工呼吸器	17,050	14,449	9,116
その他機器	8,766	9,521	9,532
CT管球	13,348	0	0
機器リース	36,516	36,516	45,047
システム賃借	249	261	349
減容炉借料	2,466	2,466	2,770
土地借料	20,163	20,163	21,137
医師マンジョン	18,039	17,723	24,161
院内保養所借料	4,305	3,835	3,840
その他	12,813	14,171	14,221
賃借料計	175,577	158,231	169,829

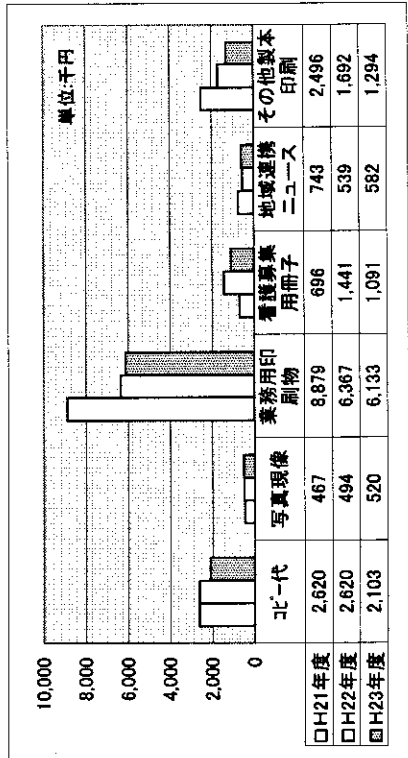
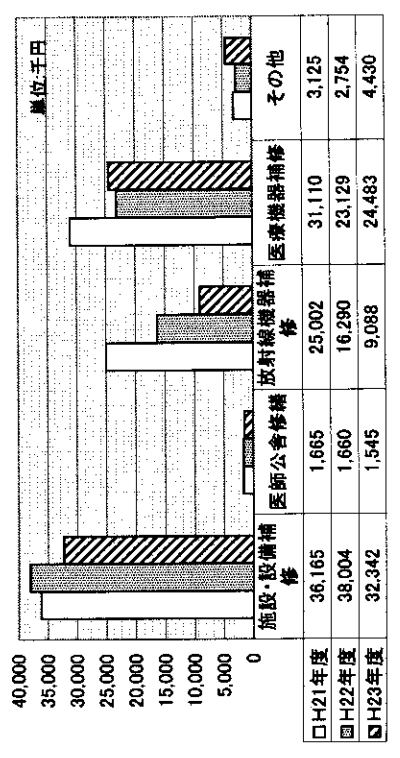


備考

平成22年度、平成23年度 二カ年経営改善計画 個別評価表

実施目標	実施項目	取り組み内容	実績及びびデータ	実績比較	備考																																																												
費用の効率化	<p>○内部管理経費の見直しについて</p> <p>電子カルテ化に伴うカルテペーパーレスの実施、また、放射線フィルムレスによる効果が大きな影響として現れました。業務用の印刷物の減少が大きいため、広報用、看護師専用印刷製本費の伸びは吸収されています。</p> <p>光熱水費については、ESCO事業を活用し、院内電気設備等の熱効率の良い設備に交換しつつ、従来までかかっていた光熱水費の無駄を削減したものの、電気、ガスともに原料高騰による単価増により、増加した。施設規模の観点からすれば、1Kw、1m²の敷坪の増加でも大きく変わります。</p> <p>消耗品費は、患者用病歴ホルダー、端末用インクカートリッジ、薬袋、注射器、ペーパータオル、洗浄液、洗濯剤などが主であり、また医療機器や院内の各システムに付随した純正品での購買が金額の多数を占めています。</p> <p>備品類は、病棟、外来での備品として、テレビや扇風機、冷蔵庫、外来での身衣体重計、使用した滅菌物の一次洗浄に使う食器洗浄機などのほか、医療従事者の事務用機器(机、イス含む)も含まれています。</p> <p>近時の傾向として、医療従事者の増加とともに、数量、使用回数が増えることによる増加は否めなため、配置、使用の適正化及び、物品統一、グロスメリットの引き出しなど単価低減努力を継続するものです。</p> <p>その他経費の見直し</p>	<p>取得済み内容</p>	<p>実績比較</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H21年度実績</th> <th>H22年度実績</th> <th>H23年度実績</th> <th>22-21実績比較</th> <th>23-22実績比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>72,651</td> <td>75,506</td> <td>65,842</td> <td>2,855</td> <td>△ 9,664</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>2,700</td> <td>5,715</td> <td>9,488</td> <td>3,015</td> <td>△ 227</td> </tr> <tr> <td>印刷費</td> <td>15,901</td> <td>13,153</td> <td>11,723</td> <td>△ 2,748</td> <td>△ 1,430</td> </tr> <tr> <td>光熱水費</td> <td>196,591</td> <td>199,423</td> <td>219,673</td> <td>2,832</td> <td>20,250</td> </tr> <tr> <td>修繕費</td> <td>97,067</td> <td>81,837</td> <td>71,888</td> <td>△ 15,230</td> <td>△ 9,949</td> </tr> </tbody> </table> <p>※特定勘定科目の内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H21年度</th> <th>H22年度</th> <th>H23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>72,651</td> <td>2,700</td> <td>15,901</td> </tr> <tr> <td>印刷費</td> <td>15,901</td> <td>13,153</td> <td>199,423</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>75,506</td> <td>5,715</td> <td>81,837</td> </tr> <tr> <td>光熱水費</td> <td>65,842</td> <td>5,488</td> <td>219,673</td> </tr> <tr> <td>修繕費</td> <td>97,067</td> <td>71,888</td> <td>71,888</td> </tr> </tbody> </table>		H21年度実績	H22年度実績	H23年度実績	22-21実績比較	23-22実績比較	消耗品費	72,651	75,506	65,842	2,855	△ 9,664	消耗品費	2,700	5,715	9,488	3,015	△ 227	印刷費	15,901	13,153	11,723	△ 2,748	△ 1,430	光熱水費	196,591	199,423	219,673	2,832	20,250	修繕費	97,067	81,837	71,888	△ 15,230	△ 9,949		H21年度	H22年度	H23年度	消耗品費	72,651	2,700	15,901	印刷費	15,901	13,153	199,423	消耗品費	75,506	5,715	81,837	光熱水費	65,842	5,488	219,673	修繕費	97,067	71,888	71,888	<p>単位:千円・税抜</p>	<p>備考</p>
	H21年度実績	H22年度実績	H23年度実績	22-21実績比較	23-22実績比較																																																												
消耗品費	72,651	75,506	65,842	2,855	△ 9,664																																																												
消耗品費	2,700	5,715	9,488	3,015	△ 227																																																												
印刷費	15,901	13,153	11,723	△ 2,748	△ 1,430																																																												
光熱水費	196,591	199,423	219,673	2,832	20,250																																																												
修繕費	97,067	81,837	71,888	△ 15,230	△ 9,949																																																												
	H21年度	H22年度	H23年度																																																														
消耗品費	72,651	2,700	15,901																																																														
印刷費	15,901	13,153	199,423																																																														
消耗品費	75,506	5,715	81,837																																																														
光熱水費	65,842	5,488	219,673																																																														
修繕費	97,067	71,888	71,888																																																														
費用の効率化	<p>◇光熱水費の削減について</p> <p>電気、ガスについては、原料高騰により、増加となった。電気についても、0.7円の増加が影響しています。ガスについても、7.2円の影響が大きく響いています。</p>	<p>取得済み内容</p>	<p>実績比較</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H21年度</th> <th>H22年度</th> <th>H23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気</td> <td>98,930</td> <td>100,335</td> <td>106,504</td> </tr> <tr> <td>ガス</td> <td>50,017</td> <td>51,265</td> <td>62,442</td> </tr> <tr> <td>上下水道</td> <td>47,644</td> <td>47,803</td> <td>50,727</td> </tr> </tbody> </table>		H21年度	H22年度	H23年度	電気	98,930	100,335	106,504	ガス	50,017	51,265	62,442	上下水道	47,644	47,803	50,727	<p>単位:千円</p>	<p>備考</p>																																												
	H21年度	H22年度	H23年度																																																														
電気	98,930	100,335	106,504																																																														
ガス	50,017	51,265	62,442																																																														
上下水道	47,644	47,803	50,727																																																														

平成22年度、平成23年度 二カ年経営改善計画 個別評価表

実施 目標	実施項目	取り組み内容	実績及びビデータ	備考																											
	<p>○印刷製本費について</p> <p>コピー代については、平成20年度に院内コピー機リース契約時に単価見直しを行い、平成23年度は、さらに院内コピー機を統一するとともに見直しにより、平成21年度との比較ではレントゲンフィルム袋などの院内印刷物の見直しにより業務関連印刷物が大幅に減少しました。</p> <p>なお、今後重要になる広報用、医師、看護師等募集用印刷物地域連携を中心とした院外広報活動には重点配分を行うものです。</p>	<p>○印刷製本費の内訳</p>  <table border="1" data-bbox="500 622 592 1343"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>写真現像</th> <th>コピー代</th> <th>業務用印刷物</th> <th>看護募集用冊子</th> <th>地域連携ニュース</th> <th>その他製本印刷</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>□H21年度</td> <td>467</td> <td>2,620</td> <td>8,879</td> <td>696</td> <td>743</td> <td>2,496</td> </tr> <tr> <td>□H22年度</td> <td>494</td> <td>2,620</td> <td>6,367</td> <td>1,441</td> <td>539</td> <td>1,692</td> </tr> <tr> <td>□H23年度</td> <td>520</td> <td>2,103</td> <td>6,133</td> <td>1,091</td> <td>582</td> <td>1,294</td> </tr> </tbody> </table>	年度	写真現像	コピー代	業務用印刷物	看護募集用冊子	地域連携ニュース	その他製本印刷	□H21年度	467	2,620	8,879	696	743	2,496	□H22年度	494	2,620	6,367	1,441	539	1,692	□H23年度	520	2,103	6,133	1,091	582	1,294	<p>○印刷製本費について</p> <p>業務用印刷物については、入院申込書、手術等の患者説明書、注射等予約票、監査処方箋、栄養指導説明書、レントゲン袋等、業務上当然発生する印刷物が主です。</p> <p>なお、がん医療に関しては、がん診療連携拠点病院にかかる国等補助金が一部充当されていますが、できる限り院内で輸送機を使用するなど、コスト増加を避ける運用を行っています。</p> <p>緩和ケア研修会手ラシ・ポスター等 啓発用冊子印刷 泉州がん拠点病院合同講演会チラシ など</p>
年度	写真現像	コピー代	業務用印刷物	看護募集用冊子	地域連携ニュース	その他製本印刷																									
□H21年度	467	2,620	8,879	696	743	2,496																									
□H22年度	494	2,620	6,367	1,441	539	1,692																									
□H23年度	520	2,103	6,133	1,091	582	1,294																									
<p>費用の 効率化</p> <p>その他経 費の見直 し</p>	<p>○修繕料の内訳</p>  <table border="1" data-bbox="1378 622 1470 1343"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>施設・設備補修</th> <th>医師公會修繕</th> <th>放射線機器補修</th> <th>医療機器補修</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>□H21年度</td> <td>36,165</td> <td>1,665</td> <td>25,002</td> <td>31,110</td> <td>3,125</td> </tr> <tr> <td>□H22年度</td> <td>38,004</td> <td>1,660</td> <td>16,290</td> <td>23,129</td> <td>2,754</td> </tr> <tr> <td>□H23年度</td> <td>32,342</td> <td>1,545</td> <td>9,088</td> <td>24,483</td> <td>4,430</td> </tr> </tbody> </table>	年度	施設・設備補修	医師公會修繕	放射線機器補修	医療機器補修	その他	□H21年度	36,165	1,665	25,002	31,110	3,125	□H22年度	38,004	1,660	16,290	23,129	2,754	□H23年度	32,342	1,545	9,088	24,483	4,430	<p>○修繕料の内訳</p> <p>施設修繕については、不急な修繕は控えるよう継続しています。</p> <p>平成21年度は、放射線治療器の故障などにより、修理費用が増加しましたが、平成22年度の結果としては、医療機器とも含めて大きな増加はありませんでした。</p> <p>しかし、施設については、築後15年を経過しており、設備関連、医療機器関連の修繕料は、一定のボリュームが必要と見込んでいます。</p>					
年度	施設・設備補修	医師公會修繕	放射線機器補修	医療機器補修	その他																										
□H21年度	36,165	1,665	25,002	31,110	3,125																										
□H22年度	38,004	1,660	16,290	23,129	2,754																										
□H23年度	32,342	1,545	9,088	24,483	4,430																										

平成22年度、平成23年度 二カ年経営改善計画 個別評価表

実施目標	実施項目	取り組み内容	実績及びデータ	備考																																																																												
医療水準の維持と向上	<p>○投資的経費の支出について</p> <p>施設建設及び医療機器購入について、病院の安定的運営と医療水準の維持向上を勘案しながら、毎年度計画的に更新をしているとあります。</p> <p>平成22年度は、放射線情報システム、シンチレーションカメラシステムなどの更新を行いました。</p> <p>平成23年度は、平成8年度取得の循環器系X線診断装置の更新を行いました。</p> <p>耳鼻いんこう科については、治療実績向上のため、診療ユニットの変更を行い、また、平成12年度設置の中央検査部の検査ラインシステムについても、院内での検査件数増加を見込み更新いたしました。</p> <p>放射線棟ほかの増改築については、プラン外となりましたが、医療動向を勘案の結果、実施いたしました。</p> <p>医療機器の更新については、安定経営の範囲内を旨に、更新期にある高額医療機器を中心に計画的に買い替えを行っています。</p> <p>主な購入医療機器</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成21年度 CT装置更新 ○平成22年度 放射線情報システム、シンチレーションカメラシステム ○平成23年度 循環器系X線診断装置、耳鼻科診療ユニット 大腸ピデオスコープ、超音波診断装置 臨床検査システム一式 <p>放射線治療棟増築及び緩和ケア病棟開棟について</p> <p>平成22年度3月3日に国指定の地域がん診療連携拠点病院の指定更新を受けました。</p> <p>今後、地域がん診療連携拠点としての役割発揮が今までの以上に求められており、当該としても、がん医療を充実、推進するため、平成8年度取得の放射線治療装置を現在求められる水準にも耐えうるよう更新を行うとともに、緩和ケア内科を設置する放射線棟を増築したものです。</p> <p>また、当院の入院患者数の約2割程度ががんに罹患されており、終末期を迎えられる方たち、緩和ケア病棟への紹介や在宅医療機関への紹介が100名強、亡くなられる方は200名程度と現状（平成22年当時）から、その役割の適時性に鑑み、緩和ケア病棟の開棟も同時に行ったものです。</p> <p>これらは、改革プラン時点からは、追加事項ではありましたが、「あり方」の観点と照らし合わせ、実施に踏み切ったものであります。</p> <p>これにより、手術療法、化学療法、放射線療法、緩和ケアの各方向軸に注力を行い、がん診療連携拠点病院としての役割発揮にまい進するところであります。</p>	<p>○投資的経費支出と起債収入の推移</p> <p>単位：千円・税込</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成21年度実績</th> <th>平成22年度実績</th> <th>平成23年度実績</th> <th>プラン最終年度計画</th> <th>計画比較23-22</th> <th>直近実績比較23-22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>企業債</td> <td>269,000</td> <td>283,500</td> <td>424,400</td> <td>349,900</td> <td>74,500</td> <td>140,900</td> </tr> <tr> <td>一般貸付負担金</td> <td>240,000</td> <td>240,000</td> <td>200,000</td> <td>200,000</td> <td>△ 40,000</td> <td>△ 40,000</td> </tr> <tr> <td>府補助金</td> <td>11,662</td> <td>3,141</td> <td>12,160</td> <td>12,160</td> <td>12,160</td> <td>9,019</td> </tr> <tr> <td>固定資産売却代金等</td> <td>423</td> <td>309</td> <td>311</td> <td>1,000</td> <td>△ 689</td> <td>△ 2</td> </tr> <tr> <td>収入計</td> <td>281,085</td> <td>526,950</td> <td>636,871</td> <td>350,900</td> <td>285,971</td> <td>△ 30,979</td> </tr> <tr> <td>病院増築費</td> <td></td> <td></td> <td>151,140</td> <td></td> <td>△ 151,140</td> <td>151,140</td> </tr> <tr> <td>医療機器購入</td> <td>286,854</td> <td>306,413</td> <td>301,293</td> <td>354,900</td> <td>53,607</td> <td>△ 5,120</td> </tr> <tr> <td>住宅医庫金</td> <td>2,003</td> <td>1,723</td> <td>1,288</td> <td>3,500</td> <td>2,212</td> <td>△ 435</td> </tr> <tr> <td>企業債元金償還金</td> <td>1,008,405</td> <td>1,114,238</td> <td>1,169,617</td> <td>1,165,369</td> <td>△ 4,248</td> <td>55,379</td> </tr> <tr> <td>支出計</td> <td>1,297,262</td> <td>1,422,374</td> <td>1,823,338</td> <td>1,523,769</td> <td>△ 99,569</td> <td>200,964</td> </tr> </tbody> </table>	項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	プラン最終年度計画	計画比較23-22	直近実績比較23-22	企業債	269,000	283,500	424,400	349,900	74,500	140,900	一般貸付負担金	240,000	240,000	200,000	200,000	△ 40,000	△ 40,000	府補助金	11,662	3,141	12,160	12,160	12,160	9,019	固定資産売却代金等	423	309	311	1,000	△ 689	△ 2	収入計	281,085	526,950	636,871	350,900	285,971	△ 30,979	病院増築費			151,140		△ 151,140	151,140	医療機器購入	286,854	306,413	301,293	354,900	53,607	△ 5,120	住宅医庫金	2,003	1,723	1,288	3,500	2,212	△ 435	企業債元金償還金	1,008,405	1,114,238	1,169,617	1,165,369	△ 4,248	55,379	支出計	1,297,262	1,422,374	1,823,338	1,523,769	△ 99,569	200,964	
項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	プラン最終年度計画	計画比較23-22	直近実績比較23-22																																																																										
企業債	269,000	283,500	424,400	349,900	74,500	140,900																																																																										
一般貸付負担金	240,000	240,000	200,000	200,000	△ 40,000	△ 40,000																																																																										
府補助金	11,662	3,141	12,160	12,160	12,160	9,019																																																																										
固定資産売却代金等	423	309	311	1,000	△ 689	△ 2																																																																										
収入計	281,085	526,950	636,871	350,900	285,971	△ 30,979																																																																										
病院増築費			151,140		△ 151,140	151,140																																																																										
医療機器購入	286,854	306,413	301,293	354,900	53,607	△ 5,120																																																																										
住宅医庫金	2,003	1,723	1,288	3,500	2,212	△ 435																																																																										
企業債元金償還金	1,008,405	1,114,238	1,169,617	1,165,369	△ 4,248	55,379																																																																										
支出計	1,297,262	1,422,374	1,823,338	1,523,769	△ 99,569	200,964																																																																										
			<p>単位：千円</p>																																																																													